

栗東駅周辺まちづくり基本方針

【素案】

平成26年9月

栗東市

目 次

1.はじめに	1
(1) 栗東駅東口公共用地の経緯	1
(2) 栗東駅周辺まちづくり基本方針の位置づけ	1
(3) その他	1
2.検討の経緯	3
3.栗東駅周辺のまちづくりの方向性(にぎわいのあり方) . . .	4
4.まちづくりの目標	5
5.まちづくり施策	6
(1) 交流による「栗東駅ならでは」のにぎわいづくり	6
(2) 便利で快適な居住を支える都心づくり	7
(3) 出歩くのが楽しみな魅力あふれる街並みづくり	8
(4) 安心して歩いて暮らせる道づくり	9
(5) わがまち意識が深まる参画と協働のまちづくり	10
6.栗東駅周辺まちづくり推進プロジェクト	12
7.駅東口公共用地の活用方策の考え方と今後の進め方 . . .	16
【資料】	
(1) 補助事業等の整理	17
(2) 栗東駅周辺まちづくりに関するアンケート(結果報告)	19

1. はじめに

(1) 栗東駅東口公共用地の経緯

- ・ J R 琵琶湖線栗東駅の開業（平成 3 年）に合わせ計画された駅ビル構想に向け、平成 6 年、栗東都市整備㈱が栗東駅前土地区画整理事業の保留地（1,358.51 m²）を取得しました。
- ・ その後、市と栗東都市整備㈱との間で、公共施設の設置検討等を検討してきましたが、平成 14 年 3 月、ホテルをメインとした計画推進が財政状況や採算性等から困難であることから、駅ビル構想は凍結され、新幹線新駅の設置も含めた将来ビジョンのなかで再度検討することを目的として、市が同用地を買戻しすることとなりました。
- ・ 平成 23 年、同用地の買戻しを完了しましたが、市はこの買戻しに当たり起債を発行しており、完済は平成 40 年度を予定している状況にあります。
- ・ 一方、平成 19 年の新幹線新駅計画の中止をはじめとする社会経済情勢の変化により、駅東口公共用地の有効活用に向けた必要性は高く、早急な対応が求められています。

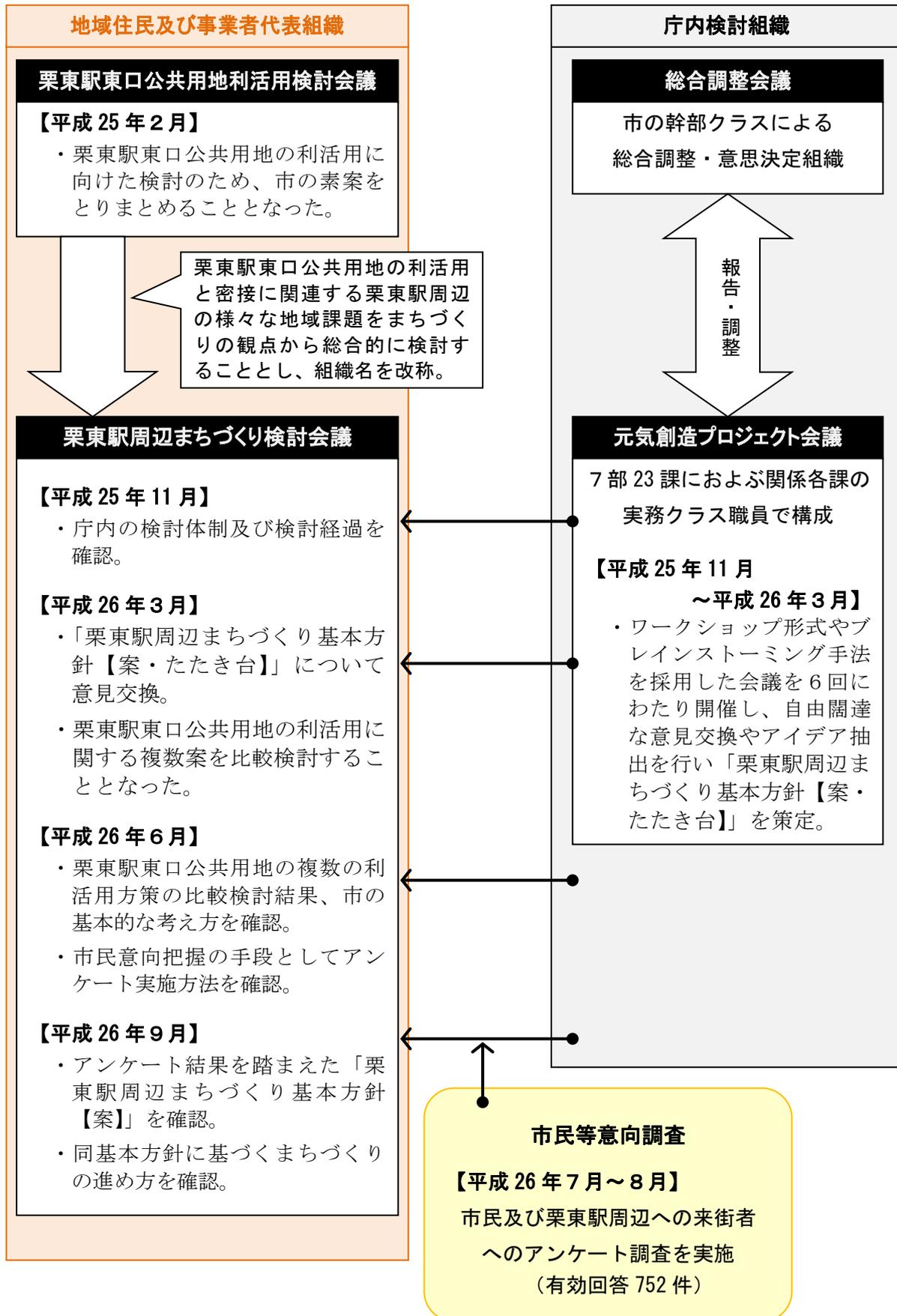
(2) 栗東駅周辺まちづくり基本方針の位置づけ

- ・ 栗東駅周辺まちづくり基本方針（以下、本文中は本基本方針と表記します。）は、市民等の意向を踏まえつつ、栗東駅東口公共用地の有効活用の方策を含む栗東駅周辺一帯における今後のまちづくりに関する市の基本的な方針を取りまとめたものです。
- ・ 本基本方針は、市の最上位計画である第五次栗東市総合計画及び市全体の都市計画、まちづくりに関する基本的な方針である栗東市都市計画マスタープランに即すとともに、市の関連する各種計画と連携するものです。

(3) その他

- ・ 栗東駅前地区地区計画を通じたまちづくりの基本的な方向性に関しては、アンケート調査結果からは、一定の評価をいただいたと考えられるものの、事業者の意見等も参考としながら、今後の方向性を検討することが必要です。
- ・ なお、本基本方針に記載する「まちづくり施策」や「施策実施の具体的なイメージ（アイデア）」等については、「まちづくり推進プロジェクト」の実施に向け、市民、事業者、および市との役割分担を明確化しつつ、協働・連携を基本姿勢として着実な実現に取り組んでいくものです。

2. 検討の経緯



3. 栗東駅周辺のまちづくりの方向性（にぎわいのあり方）

栗東駅周辺のまちづくりの方向性

栗東駅周辺は、便利さと静けさが調和し、地域住民を中心に市民が買物を楽しみ、人との触れ合いや文化の薫りに感動する場です。

そのにぎわいは、落ち着きのある暮らしやすい居住環境と調和しつつ、たくさんの方が魅力と期待を持って出歩いているにぎわいです。



これまでのまちづくりの成果を活かしながら “栗東駅周辺ならではの”のまちづくりを進めます

- ・栗東駅周辺は、土地区画整理事業による基盤整備と合わせて、居住環境に大きな影響を及ぼす遊戯施設や工場の立地を制限し、喧騒の要因となる土地利用を制限するなど、便利さと静けさが共存する暮らしやすいまちづくりを進めてきました。
- ・この結果、駅前の交通利便性や都市機能が集積する生活利便性の高さ、閑静な居住環境などが評価され、人口、世帯数ともに大幅に増加しました。
- ・今後は、草津駅前や守山駅前とは一味違う“栗東駅周辺ならではの”の特徴、これまでに築き上げてきたまちづくりの成果を活かしながら、地域住民がより一層、暮らしやすさと豊かさが実感できるまちづくりを進めることが重要です。
- ・暮らしやすさは、日常の買い物などの便利さや子育てのしやすさ、健康、福祉、防災、防犯などの安全安心が確保されることによって実感できるものではないでしょうか。
- ・また、豊かさは、人と人が心を通わせあったり、芸術文化に触れて感動を覚えたり、自分が活躍、貢献できる場と機会が地域社会にあることを確信することからくる充足感とともに実感できるものではないでしょうか。
- ・栗東駅周辺では、地域住民が「栗東駅周辺に住んで良かった、ここには他にない暮らしやすさと豊かさがある」と実感できるまちづくりを進めます。

4. まちづくりの目標

目標 1

交流による「栗東駅ならではの」のにぎわいづくり

子供からお年寄りまで多様な世代が気軽に集い、芸術や文化などを楽しみながら、交流や自己表現ができる場と機会を充実させます。



目標 2

便利で快適な居住を支える都心づくり

栗東駅利用の利便性を高めるとともに、地域住民及び駅利用者の買物や将来的な医療など様々な需要に応える多様な機能が立地しやすい環境をつくります。



目標 3

出歩くのが楽しい魅力あふれる街並みづくり

地域内の歴史文化資源や芸術文化施設など既存の魅力資源をさらに磨き、相互に繋げるなどにより、文化が薫る美しい散策空間をつくります。



目標 4

安心して歩いて暮らせる道づくり

これからの高齢社会を見据え、誰もが訪れやすく安心・快適にまちなかを散策できる歩いて暮らせるまちをつくります。



目標 5

わがまち意識が深まる参画と協働のまちづくり

既存の公共公益施設の積極的な利活用の促進、施設の長寿命化を図るとともに、維持管理への住民、事業者の積極的な参画を促し、「わがまち」意識や愛着を醸成します。



5. まちづくり施策

(1) 交流による「栗東駅ならではの」のにぎわいづくり

子供からお年寄りまで多様な世代が気軽に集い、芸術や文化などを楽しみながら、交流や自己表現ができる場と機会を充実させます。

まちづくり施策

駅東口公共用地の積極的活用

- 1 駅東口公共用地への芝生広場、休憩スペース、仮設ステージ等の設置、水道、電気の敷設(仮設店舗用)
- 2 屋台市や夜市、体操会場など様々な交流イベントの場として積極的な活用を促進
- 3 住民・駅利用者・事業者と対話しながら交通広場を含めた駅東口全体の再整備の可能性を検討
- 4 滝を撤去し、市民が育くむ花壇などで彩りを創出

3年以内

中期

交流による活性化促進

- 5 金勝市場など都市と農村の交流事業の活性化を促進
- 6 市民が気軽に利用できる多目的スペースを設置(空きテナント等を活用)
- 7 女性、高齢者、障がい者等の交流や就労など社会参画の場として活用(空きテナント等を活用)
- 8 気軽に人が集い、滞留する多世代交流拠点を創出(空きテナント等を活用)
- 9 地域の食と交流を目的とした「食・語り・交流のスペース」の創出(空きテナント等を活用)
- 10 デジタルサイネージを有効活用し、様々な情報を発信(市民等の私的活用を含む)
- 11 ウイングプラザと平和堂の間の歩行空間を交流の場として活用(イベント等の実施、簡易屋根の設置など)
- 12 地域密着型アイドルグループを創出し、交流できるスペースを創出

3年以内

短期

中期

子育て支援機能の充実

- 13 幼児・児童・生徒等の作品展示スペースを設置(空きテナント等を活用)するなど地域で子供の健全育成を見守る機運を醸成
- 14 児童館及び子育て支援センターを拠点とした子育て支援機能の継続・充実
- 15 市内の事業所と連携して児童・生徒・学生の職業体験の場を創出(空きテナント等を活用)

3年以内

短期

施策実施上の課題

交通広場の利用実態調査や駅利用者等の意向把握、関係法令の整理を行う必要があります。

- 3年以内** : 概ね3年以内の着手を目指す最優先の事業
- 短期** : 10年以内を想定(なるべく早期の実現を目指す事業)
- 中期** : 10年~20年以内を想定(今すぐには取り掛かれない事業)
- 長期** : 長期的対応を想定(可能性を見極めながら将来的に検討する事業)

(2) 便利で快適な居住を支える都心づくり

栗東駅利用の利便性を高めるとともに、地域住民及び駅利用者の買物や将来的な医療など様々な需要に応える多様な機能が立地しやすい環境をつくります。

まちづくり施策

栗東駅前地区
地区計画の検
証

空きテナントの
有効活用促進

都心居住を支
える多様な機
能の確保

施策実施の具体的イメージ(アイデア)

16 栗東駅前地区地区計画の成果と今後の課題の検証(市民・事業者の意向を確認)

17 人が滞留する場(カフェ)などの誘致

18 空きテナントの活用によるチャレンジショップ事業(起業家の育成・支援)

19 市民が気軽に利用できる多目的スペースを設置(空きテナント等を活用)(**6** 再掲)

20 女性、高齢者、障がい者等の交流や就労など社会参画の場として活用(空きテナント等を活用)(**7** 再掲)

21 気軽に人が集い、滞留する多世代交流拠点を創出(空きテナント等を活用)(**8** 再掲)

22 地域の食と交流を目的とした「食・語り・交流のスペース」の創出(空きテナント等を活用)(**9** 再掲)

23 幼児・児童・生徒等の作品展示スペースを設置(空きテナント等を活用)するなど地域で子供の健全育成を見守る機運を醸成(**13** 再掲)

24 市内の事業所と連携して児童・生徒・学生の職業体験の場を創出(空きテナント等を活用)(**15** 再掲)

25 ウイングプラザの空きテナントに駅前観光案内所を設置

26 (都)栗東駅前線の幅員構成の見直し、事業者等が利用しやすい空間を創出

27 地域の医療を支える先端医療施設の誘致及び経済的発展に繋がるメディカルツーリズムへの展開

28 青年層を集客する都市機能(サテライトキャンパス等)の誘致

施策実施上
の課題

栗東駅前地区地区計画の現行の制限内容とこれまでの成果を市民等と共有した上で検証を行う必要があります。

3年以内

3年以内

短期

長期

長期

- 3年以内** : 概ね3年以内の着手を目指す最優先の事業
- 短期** : 10年以内を想定(なるべく早期の実現を目指す事業)
- 中期** : 10年~20年以内を想定(今すぐには取り掛かれない事業)
- 長期** : 長期的対応を想定(可能性を見極めながら将来的に検討する事業)

(3) 出歩くのが楽しい魅力あふれる街並みづくり

地域内の歴史文化資源や芸術文化施設など既存の魅力資源をさらに磨き、相互に繋げるなどにより、文化が薫る美しい散策空間をつくります。

まちづくり施策

施策実施の具体的イメージ(アイデア)

歴史文化資源の維持保全と有効活用

- 29** 大宝神社などの文化財の維持保全と観光交流などへの有効活用
- 30** 歴史街道のPR(地域住民の意識啓発)
- 31** 中山道における歴史文化が感じられる風情ある街並みの誘導・維持(草津市・守山市と連携)

短期

屋外空間を含むさきら全体の積極的活用

- 32** さきらシンボル広場の利活用(野外コンサート・鯉のぼりイベント・若者向けのスポーツ広場・地上絵アート等)
- 33** さきらの池を子どもの水遊びの場に活用
- 34** (都)栗東駅前線及び(都)荻原線との交差点に面するさきらの公開空地の有効活用
- 35** さきらの大ホールの改装による収容人数増加

3年以内

中期

長期

回遊動線の景観づくり

- 36** 公共施設及び賛同する市民や事業者が連携して環境配慮型のイルミネーションなどを実施し回遊動線を創出
- 37** 栗東駅周辺の様々な場所でアートスペースを創出(さきらの興行のリハーサルなど)
- 38** さきら外周のウォーキングコース設置(距離と消費カロリーを表示)
- 39** 地域の文化資源(森田漫画や競走馬など)に因んだオブジェなどを街かどに設置、ブロックタイルやプレートを歩道に埋め込む
- 40** 緑化の充実、広告物の形態・意匠の統一、無電柱化、街路樹等の見直し、道路後退用地の有効活用

短期

中期

長期

施策実施上の課題

鯉のぼりイベントのような年度当初の事業に、教育機関の協力を求める場合は、あらかじめ各教育機関との調整を行う必要があります。

- 3年以内** : 概ね3年以内の着手を目指す最優先の事業
- 短期** : 10年以内を想定（なるべく早期の実現を目指す事業）
- 中期** : 10年～20年以内を想定（今すぐには取り掛かれない事業）
- 長期** : 長期的対応を想定（可能性を見極めながら将来的に検討する事業）

(4) 安心して歩いて暮らせる道づくり

これからの高齢社会を見据え、誰もが訪れやすく安心・快適にまちなかを散策できる歩いて暮らせるまちをつくります。

まちづくり施策

施策実施の具体的イメージ(アイデア)

栗東駅のバリアフリー化、利便性の向上

41 栗東駅構内及び栗東駅西口へエレベーターを設置

3年以内

42 栗東駅への新快速の停車実現

短期

栗東駅周辺へのアクセス性の向上

43 コミュニティバスの利便性向上（駅周辺事業者との連携による割引・特典の実施など利用促進策の検討）

3年以内

44 駐車場における「車いす区画」、「思いやり区画」の整備（高齢者、障がい者、妊婦等の利便性確保）

45 （都）栗東駅前線の路側帯、せせらぎスペースを活用した無料駐車スペースの整備

中期

46 電気自動車の充電スポットを設置

47 さくら利用者の駐車場無料化も含めたあり方の検討

長期

安全で快適な人にやさしい道づくり

48 （都）大門野尻線の早期整備

短期

49 自転車専用レーンの整備や歩道のバリアフリー化、点字ブロックの敷設

50 草津市・守山市との連携による中山道の自動車の通行制限

中期

51 栗東駅東西地下通路の拡幅（駅東西の一体性向上、地域活性化）

長期

施策実施上の課題

栗東駅西口へエレベーターを設置する際には、駅舎の床面積が増加することに伴う各種法令への対応措置などを確認する必要があります。

- 3年以内** : 概ね3年以内の着手を目指す最優先の事業
- 短期** : 10年以内を想定（なるべく早期の実現を目指す事業）
- 中期** : 10年～20年以内を想定（今すぐには取り掛かれない事業）
- 長期** : 長期的対応を想定（可能性を見極めながら将来的に検討する事業）

(5) わがまち意識が深まる参画と協働のまちづくり

既存の公共公益施設の積極的な利活用の促進、施設の長寿命化を図るとともに、維持管理への住民、事業者の積極的な参画を促し、「わがまち」意識や愛着を醸成します。

まちづくり施策

施策実施の具体的イメージ(アイデア)

公共施設の活用と愛着を育む制度の導入

- 52** 既存の整備済み公園の特徴などを住民に周知し、利用を促進
- 53** 住民等の参画による公園の維持管理制度の導入
- 54** ベンチや花壇等公共空間のアダプト制度の導入
- 55** 公共施設へのネーミングライツ(命名権)制度の導入
- 56** 市道の愛称公募やりっとう美知メセナなど愛着を育む施策の実施
- 57** 魚や鳥など生き物が生息する中ノ井川の良好な水辺景観を住民参画で保全、向上

短期

既存の公共施設の運営等の適正化

- 58** 利用者のニーズなど実態を踏まえた公共施設のあり方の見直し
- 59** 計画的な修繕・改修、再生可能エネルギー・省エネ機器の導入などによる公共施設の維持コストの圧縮、長寿命化

3年以内

中期

まちづくりに参画しやすい機会・環境づくり

- 60** 栗東駅周辺のまちづくりを担う各種団体等が参画する協議会の設立
- 61** 地域のまちづくりに功労のあった人材の顕彰等を通じたまちづくり意識の啓発

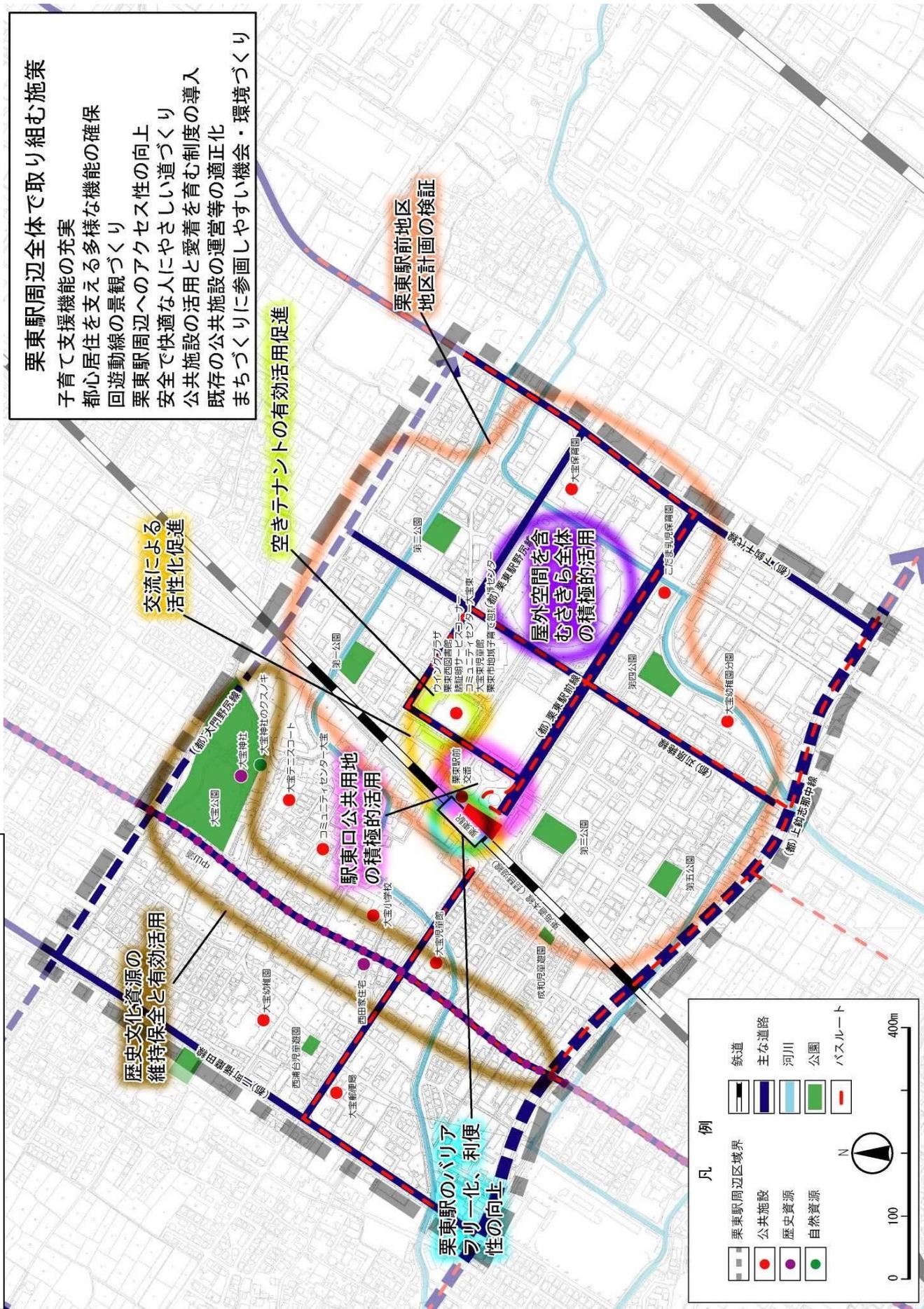
3年以内

短期

施策実施上の課題

現在、公園の管理は市または自治会となっており、公園の維持管理への住民等の参画制度を検討する際には、管理者との調整が必要です。

栗東駅周辺まちづくり施策展開図



栗東駅周辺全体で取り組む施策

- 子育て支援機能の充実
- 子育で支援機能を支える多様な機能の確保
- 都心居住を支える多様な機能の確保
- 回遊動線の景観づくり
- 栗東駅周辺へのアクセス性の向上
- 安全で快適な人にやさしい道づくり
- 公共施設の活用と愛着を育む制度の導入
- 既存の公共施設の運営等の適正化
- まちづくりに参画しやすい機会・環境づくり

凡例

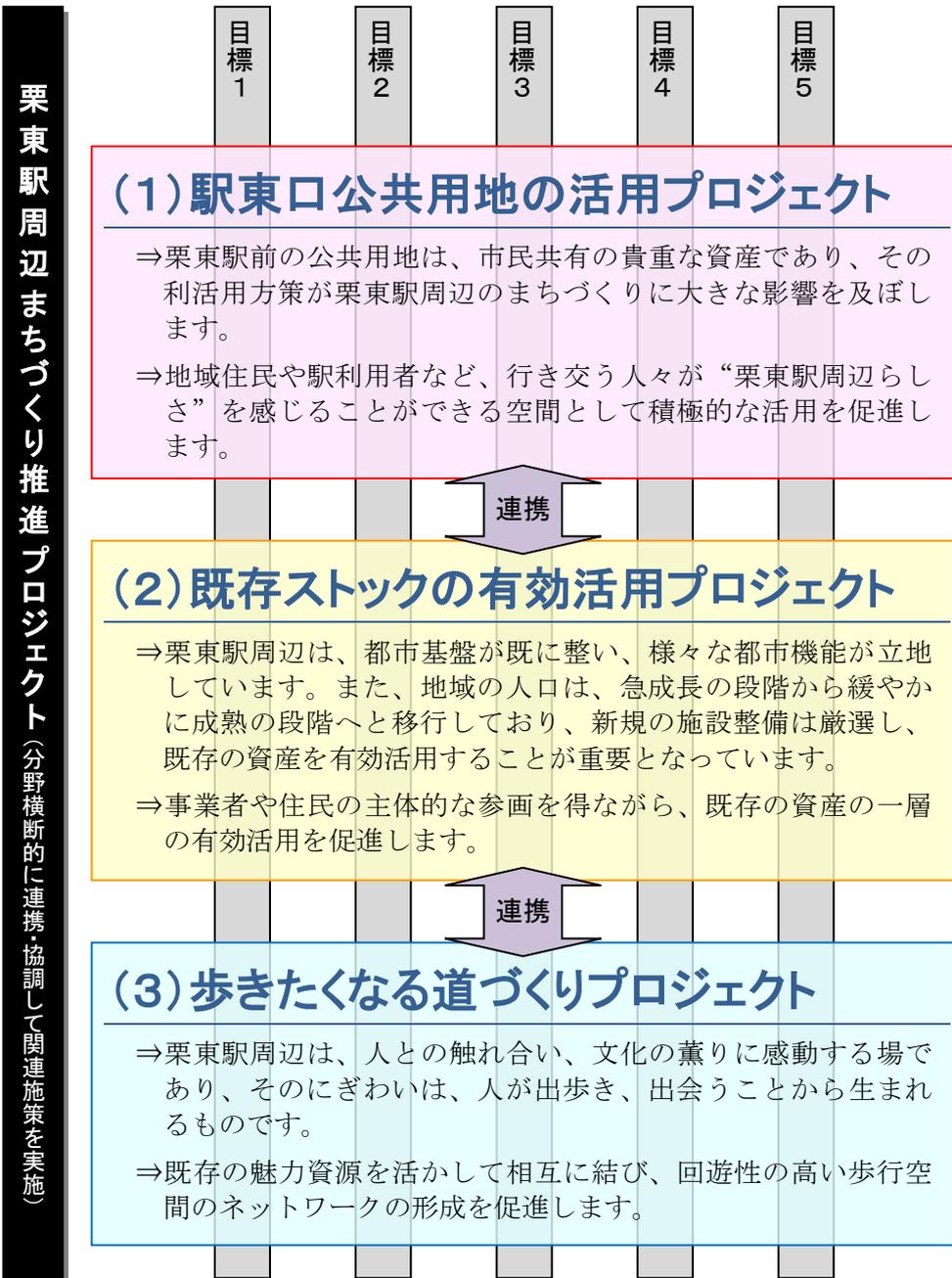
	鉄道
	主な道路
	河川
	公園
	バスルート
	公共施設
	歴史資源
	自然資源

0 100 400m

N

6. 栗東駅周辺まちづくり推進プロジェクト

- まちづくりの方向性(にぎわいのあり方)、まちづくりの目標を実現するため、分野横断的に関連する施策を緊密に連携して展開することが重要です。ここでは、相互に関連があり、連携・協調して実施することにより効果が高まる施策の具体的アイデアを3つのまちづくり推進プロジェクトとして集約して掲載し、栗東駅周辺において展開される今後のまちづくりのイメージを提示します。
- ※実際に各推進プロジェクトを実施する際には、地域住民、事業者、栗東駅利用者等の意向を踏まえながら、さらに施策の内容を精査し、地域住民等と協働で実施します。



- 3** : 概ね3年以内の着手を目指す最優先の事業
- 短** : 10年以内を想定(なるべく早期の実現を目指す事業)
- 中** : 10年~20年以内を想定(今すぐには取り掛かれない事業)
- 長** : 長期的対応を想定(可能性を見極めながら将来的に検討する事業)

(1) 駅東口公共用地の活用プロジェクト

栗東駅東口公共用地は、市民共有の貴重な資産であり、その利活用方策が栗東駅周辺のまちづくりに大きな影響を及ぼします。

これまでの栗東駅周辺のまちづくりの経緯や成果、地域住民、事業者、駅利用者の意向を踏まえながら、栗東駅東口公共用地の利活用を積極的に促進し、市民等の交流によるにぎわいを創出します。

また、中長期的な施策として駅東口の交通広場(2つのロータリー等)と合わせた一体的な再編の可能性を探求するなど、様々な観点から総合的に検討します。

関連する施策実施の具体的イメージ(アイデア)

1	駅東口公共用地への芝生広場、休憩スペース、仮設ステージ等の設置、水道、電気の敷設(仮設店舗用)	担当部署: 事業推進担当課	3
2	屋台市や夜市、体操会場など様々な交流イベントの場として積極的な活用を促進	担当部署: 事業推進担当課	3
3	住民・駅利用者・事業者と対話しながら交通広場を含めた駅東口全体の再整備の可能性を検討	担当部署: 事業推進担当課	3
5	金勝市場など都市と農村の交流事業の活性化を促進	担当部署: 事業推進担当課	3
16	栗東駅前地区地区計画の成果と今後の課題の検証(市民・事業者の意向を確認)	担当部署: 都市計画課	3
17	人が滞留する場(カフェ)などの誘致	担当部署: 事業推進担当課	3
37	栗東駅周辺の様々な場所でアートスペースを創出(さきらの興行のリハーサルなど)	担当部署: 事業推進担当課	3
41	栗東駅構内及び栗東駅西口へエレベーターを設置	担当部署: 生活交通課	3
43	コミュニティバスの利便性向上(路線やダイヤの見直し)及び利用促進策の検討	担当部署: 生活交通課	3
60	栗東駅周辺のまちづくりを担う各種団体等が参画する協議会の設立	担当部署: 事業推進担当課	3
10	デジタルサイネージを有効活用し、様々な情報を発信(市民等の私的活用を含む)	担当部署: 商工観光課	短
42	栗東駅への新快速の停車実現	担当部署: 生活交通課	短
54	ベンチや花壇等公共空間のアダプト制度の導入	担当部署: 都市計画課	短

市民、事業者等が主体となった様々なイベント等の交流事業の実施やプランター等による花と緑の景観創出、栗東駅のバリアフリー化など利便性の向上に取り組み、栗東駅前に賑わいと彩りを創出します。

4	滝を撤去し、市民が育む花壇などで彩りを創出	中
12	地域密着型アイドルグループを創出し、交流できるスペースを創出	中
46	電気自動車の充電スポットを設置	中
51	栗東駅東西地下通路の拡幅(駅東西の一体性向上、地域活性化)	長

中長期的には、短期的な取り組みの成果や東口全体の再整備の可能性を踏まえ、栗東市の玄関口として快適性や利便性をさらに高める施策を実施します。施設を建設する場合には、民間のノウハウ、資金の活用による建設、運営を基本とします。

(2) 既存ストックの有効活用プロジェクト

連携

(3) 歩きたくなる道づくりプロジェクト

- 3** : 概ね3年以内の着手を目指す最優先の事業
- 短** : 10年以内を想定(なるべく早期の実現を目指す事業)
- 中** : 10年~20年以内を想定(今すぐには取り掛かれない事業)
- 長** : 長期的対応を想定(可能性を見極めながら将来的に検討する事業)

(2) 既存ストックの有効活用プロジェクト

栗東駅周辺は、栗東駅開業に合わせてまちづくりを進めてきた駅東側を中心に、多様な都市機能、施設が立地しています。

これらの施設の中には、相互の連携により、一層の有効活用が期待されるものがあります。

栗東駅周辺における特徴的な機能である芸術文化拠点(さきら)や他の施設の連携を図り、栗東駅周辺に人の流れを創出します。

関連する施策実施の具体的イメージ(アイデア)

6	市民が気軽に利用できる多目的スペースを設置(空きテナント等を活用)	担当部署: 商工観光課	3
7	女性、高齢者、障がい者等の交流や就労など社会参画の場として活用(空きテナント等を活用)	担当部署: 商工観光課	3
8	気軽に人が集い、滞留する多世代交流拠点を創出(空きテナント等を活用)	担当部署: 商工観光課	3
9	地域の食と交流を目的とした「食・語り・交流のスペース」の創出(空きテナント等を活用)	担当部署: 商工観光課	3
13	幼児・児童・生徒等の作品展示スペースを設置(空きテナント等を活用)するなど地域で子供の健全育成を見守る機運を醸成	担当部署: 商工観光課	3
14	児童館及び子育て支援センターを拠点とした子育て支援機能の継続・充実	担当部署: 子育て応援課	3
18	空きテナントの活用によるチャレンジショップ事業(起業家の育成・支援)	担当部署: 商工観光課	3
32	さきらシンボル広場の利活用(野外コンサート・鯉のぼりイベント・若者向けのスポーツ広場・地上絵アート等)	担当部署: スポーツ文化振興課	3
33	さきらの池を子どもの水遊びの場に活用	担当部署: スポーツ文化振興課	3
44	駐車場における「車いす区画」、「思いやり区画」の整備(高齢者、障がい者、妊婦等の利便性確保)	担当部署: 障がい福祉課	3
60	栗東駅周辺のまちづくりを担う各種団体等が参画する協議会の設立	担当部署: 事業推進担当課	3
11	ウイングプラザと平和堂の間の歩行空間を交流の場として活用(イベント等の実施、簡易屋根の設置など)	担当部署: 商工観光課	短
15	市内の事業所と連携して児童・生徒・学生の職業体験の場を創出(空きテナント等を活用)	担当部署: 商工観光課	短

空きテナントを活用して市民が気軽に集える空間を創出するとともに、ウイングプラザと平和堂の間の歩行空間やさきらのシンボル広場等と駅東口公共用地の連携による面的なイベントの実施を促進するなど、人の流れをつくり出します。

34	(都)栗東駅前線及び(都)荻原総線の交差点に面するさきらの公開空地の有効活用	中
26	(都)栗東駅前線の幅員構成の見直し、事業者等が利用しやすい空間を創出	長
35	さきらの大ホールの改装による収容人数増加	長

中長期的には、短期的な取り組みの成果を踏まえながら、ハード事業の実施による既存の公共施設の一層の有効活用に取り組みます。

(1) 駅東口公共用地の活用プロジェクト

連携

(3) 歩きたくなる道づくりプロジェクト

連携

- 3** : 概ね3年以内の着手を目指す最優先の事業
- 短** : 10年以内を想定(なるべく早期の実現を目指す事業)
- 中** : 10年~20年以内を想定(今すぐには取り掛かれない事業)
- 長** : 長期的対応を想定(可能性を見極めながら将来的に検討する事業)

(3) 歩きたくなる道づくりプロジェクト

栗東駅周辺には、駅東側を中心に立地する各種の都市機能だけでなく、駅西側を中心に中山道、大宝神社などの歴史文化資源や中ノ井川の水辺など潤いや風情を感じる地域資源が多様に存在しています。

これらの既存の多様な地域資源を活かし、市民や事業者と協働で散策ルートの形成や歩行空間の充実など、歩くことが楽しい市街地環境を形成することにより、まちを散策する人を増やし、様々な出会いの機会を創出します。

関連する施策実施の具体的イメージ(アイデア)

16	栗東駅前地区地区計画の成果と今後の課題の検証(市民・事業者の意向を確認)	担当部署:都市計画課	3
60	栗東駅周辺のまちづくりを担う各種団体等が参画する協議会の設立	担当部署:事業推進担当課	3
29	大宝神社などの文化財の維持保全と観光交流などへの有効活用	担当部署:スポーツ・文化振興課	短
30	歴史街道のPR(地域住民の意識啓発)	担当部署:都市計画課	短
31	中山道における歴史文化が感じられる風情ある街並みの誘導・維持(草津市・守山市と連携)	担当部署:都市計画課	短
54	ベンチや花壇等公共空間のアダプト制度の導入	担当部署:都市計画課	短
56	市道の愛称公募やりっとう美知メセナなど愛着を育む施策の実施	担当部署:道路・河川課	短
57	魚や鳥など生き物が生息する中ノ井川の良好な水辺景観を住民参画で保全、向上	担当部署:環境政策課	短
36	公共施設及び賛同する市民や事業者が連携して環境配慮型のイルミネーションなどを実施し回遊動線を創出	担当部署:商工観光課	短
37	栗東駅周辺の様々な場所でアートをスペースを創出(さきらの興行のリハーサルなど)	担当部署:スポーツ・文化振興課	短
38	さきら外周のウォーキングコース設置(距離と消費カロリーを表示)	担当部署:スポーツ・文化振興課	短
49	自転車専用レーンの整備や歩道のバリアフリー化、点字ブロックの敷設	担当部署:道路・河川課	短

地域住民が参画する体制を整え、既存の地域資源や公共施設などを活用して創出するアートをスペースを結ぶ散策ルートづくり、イルミネーションの実施など栗東駅東西の魅力、資源を結び歩きたくなる環境づくりに市民等と協働で取り組みます。



39	地域の文化資源(森田漫画や競走馬など)に因んだオブジェなどを街かどに設置、ブロックタイルやプレートを歩道に埋め込む		中
50	草津市・守山市との連携による中山道の自動車の通行制限		中
40	緑化の充実、広告物の形態・意匠の統一、無電柱化、街路樹等の見直し、道路後退用地の有効活用		長
51	栗東駅東西地下通路の拡幅(駅東西の一体性向上、地域活性化)		長

中長期的には、短期的な取り組みの成果を踏まえながら、ハード事業の実施による既存の公共施設の一層の有効活用に取り組みます。

(1) 駅東口公共用地の活用プロジェクト

連携

(2) 既存ストックの有効活用プロジェクト

7. 栗東駅周辺まちづくりの今後の進め方

栗東駅東口公共用地の利活用にあたっては、同用地だけの利活用を検討するのではなく、栗東駅周辺の多様な地域課題の解決を含め、総合的なまちづくりとして取り組みます。

関係各課がそれぞれに所管する施策を通じて主体的に推進するとともに、全体の進行管理やまちづくり推進プロジェクトの実施計画を策定する事業推進担当課が中心となり、情報共有や相互連携を行い、着実かつ効果的に“栗東駅周辺ならでは”のにぎわい、暮らしやすさ、豊かさが実感できるまちづくりの実現を図ります。

事業実施に向けては、まちづくり推進プロジェクトの実現に向けた具体的な実施計画を整理し、必要に応じて予算措置を図りながら推進していきます。

まちへの誇りと愛着を共有し、まちの活力を高めていくため、実施計画の検討等の決定プロセスも含め、市民、事業者、駅利用者等の市民参画や協働を求めるとともに、それぞれの主体が役割を分担し、まちづくり推進プロジェクトを進めます。

(1)「栗東駅東口公共用地の活用プロジェクト」の推進にあたって

栗東駅東口公共用地は、地域住民や市民等が気軽に集い交流する芝生広場として暫定整備を行い、有効活用できる空間として利用促進するなど、3年以内に実施するとした項目を中心に取り組みを進めます。

また、中・長期的には、財政状況、地域のニーズ等を勘案しつつ、駅前広場の滝や駅前ロータリーも含め、東口全体の一体的な再整備の可能性についても検討し、その一環として施設を整備する場合には、民間活力を導入することを基本とします。

(2)「既存ストックの有効活用プロジェクト」の推進にあたって

既存のストック（ウイングプラザ、平和堂、さきらや周辺の商業施設など）の有効活用を図るため、地域のニーズ等を踏まえながら、空きテナント等を活用し、にぎわいの創出や、子供たちの健やかな成長につながる施策など、3年以内に実施するとした項目を中心に取り組みを進めます。

また、当基本方針における内容を各課において各種計画等に反映し、施策に結びつけるべく引き続き検討を重ねていきます。

(3)「歩きたくなる道づくりプロジェクト」の推進にあたって

にぎわいの原点である歩きたくなる道づくりを行うため、道路などのハード整備も必要となりますが、まずは地域ニーズ等を踏まえながら、地域の資源を磨き、結び、その道筋を緑や花で彩り魅力を高める施策など、短期的に実施するとした項目を中心に検討を進めます。

また、当基本方針における内容を各課において各種計画等に反映し、施策に結びつけるべく引き続き検討を重ねていきます。

【資料】

(1)補助事業等の整理

・ここでは、現時点で活用が想定される代表的な補助事業を例示します。事業実施の際には、以下の補助事業を中心に、事業内容に沿った国、県等の支援メニューを積極的に活用します。

事業メニュー	必須の上位計画	内容	補助率など
社会資本総合整備交付金事業	・社会資本総合整備計画	○基幹事業 (都市再生整備計画事業) ○関連事業 (関連社会資本整備事業+効果促進事業)	・国費率：40% (認定中心市街地活性化基本計画区域は45%)
暮らし・にぎわい再生事業	・中心市街地活性化基本計画(要認定)	○コア事業 ①都市機能まちなか立地支援 ②空きビル再生支援 ③賑わい空間施設整備(多目的広場整備) ○付帯事業 ①計画コーディネート支援 ②関連空間整備	・国費率：1/3
中心市街地活性化事業(中心市街地再興戦略事業)		○先導的、実証的事業 (施設整備事業) ○調査事業 (ニーズ調査、マーケティング調査等) ※平成25年度補正予算での対応に限り、調査事業は中心市街地活性化基本計画の認定の必要がない	・国費率：2/3 ・補助対象：民間事業者、まちづくり会社等
民間まちづくり活動促進事業	以下のいずれか ・中心市街地活性化基本計画(要認定) ・景観計画 ・歴史的風致維持向上計画(要認定) ・観光圏整備実施計画(要認定) ・再開発方針 ・地区計画	○普及啓発事業 ・都市の課題解決に向け関係者を対象としたワークショップを開催するなど、継続的な活動を実践する人材育成の仕組みの構築 ○社会実験・実証事業等 ①協定に基づく広場の整備や通路舗装の高質化、公共空間を活用したイベントの実施等 ②にぎわい・交流の場の創出や都市施設の活用等に資する社会実験等	・国費率：定額補助 ・補助対象：地方公共団体、大学、中心市街地活性化協議会、景観協議会、民間事業者等(JV含む) ① ・国費率：1/2 (かつ、地方公共団体負担額以内) ・補助対象：都市再生整備推進法人 ② ・国費率：1/2 【直接補助】1/2 【間接補助】1/3 (かつ、地方公共団体負担額以内) ・補助対象： 【直接補助】中心市街地活性化協議会、景観協議会等 【間接補助】民間事業者等
都市環境維持・改善事業資金貸付制度	・低炭素まちづくり計画	○都市再生整備推進法人や街づくり法人が自立・持続的なエリアマネジメント活動を目的として実施する収益事業や区御経施設整備事業に貸付	・貸付限度額：事業費の1/2 ・国の貸付率：地方公共団体の貸付額の1/2(事業費の1/4) ・利率：無利子 ・償還期間：10年以内

事業メニュー	必須の上位計画	内容	補助率など
地域商業自立促進事業		<p>○調査分析事業</p> <p>①地域商業自立促進調査分析事業 ・商店街等において地域コミュニティの形成に向けた事業(②、③)に継続的に取り組むために必要な調査・分析事業</p> <p>○支援事業</p> <p>②地域コミュニティ形成促進支援事業 ・コミュニティカフェの整備、運動教室・手芸教室の場の整備等</p> <p>③商店街等新陳代謝促進支援事業 ・チャレンジショップの整備等</p> <p>④魅力創造支援事業 ・アンテナショップ整備、集客イベント実施等</p>	<p>①～③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国費率：2/3 ①は100万円～500万円 ②、③は100万円～5億円 ・補助対象：商店街組織、民間事業者等 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国費率：2/3 100万円～2億円 ・補助対象：商店街組織、民間事業者等

栗東駅周辺まちづくりに関する
アンケート

結果報告書

栗東市

目 次

1. 調査の概要

(1) 調査の目的	21
(2) 調査対象及び調査方法	21
(3) 調査期間	21
(4) 回収率	21

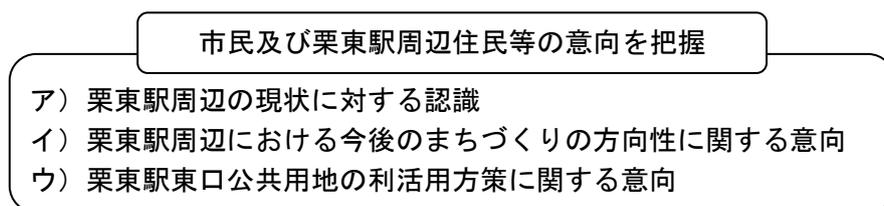
2. 調査結果

(1) 全体集計	22
はじめに	22
栗東駅周辺の現状について	25
栗東駅周辺の今後のまちづくりについて	27
自由意見の整理	31
(2) 居住地別の集計	35
栗東駅周辺の現状について	35
栗東駅周辺の今後のまちづくりについて	37

1.調査の概要

(1) 調査の目的

- ・多種多様な地域課題に向き合いながら「いつまでも住み続けたいくなる安心な元気都市栗東」の構築を目指すため、栗東駅周辺のまちづくりの今後の進め方や方向性、栗東駅東口公共用地の利活用のあり方等について、市民及び栗東駅周辺住民、栗東駅周辺に訪れる人々の認識、意向を把握することを目的とします。



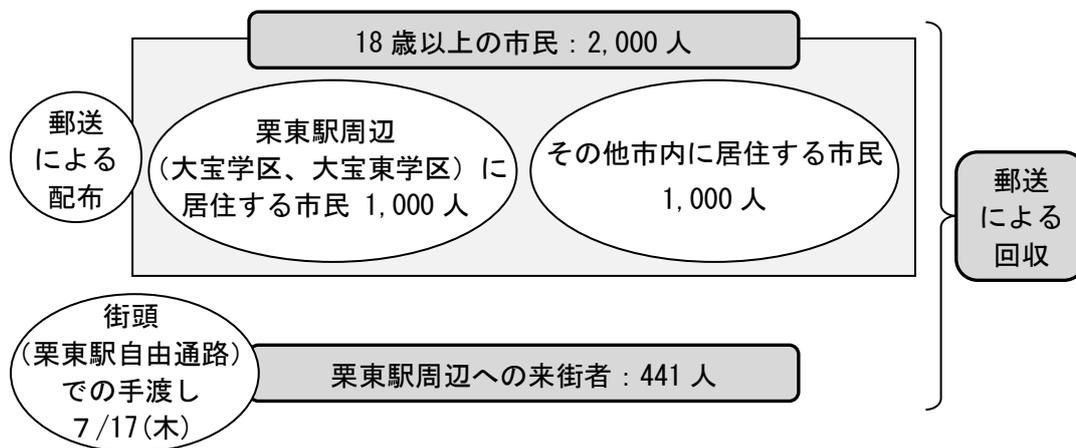
(2) 調査対象及び調査方法

①対象者

- ・18歳以上の栗東市民及び栗東駅周辺への来街者

②実施方法

- ア) 郵送による配布・回収 (2,000票配布 (うち1,000票は栗東駅周辺住民))
- イ) 街頭配布・郵送回収 (441票) …栗東駅周辺への来街者 (7/17(木))



(3) 調査期間

- ・平成26年7月17日(木)～平成26年8月20日(水)

(4) 回収数・回収率

- ・有効配布数：2,429件(宛所不明12件)、回収数：752件、回収率：31.0%

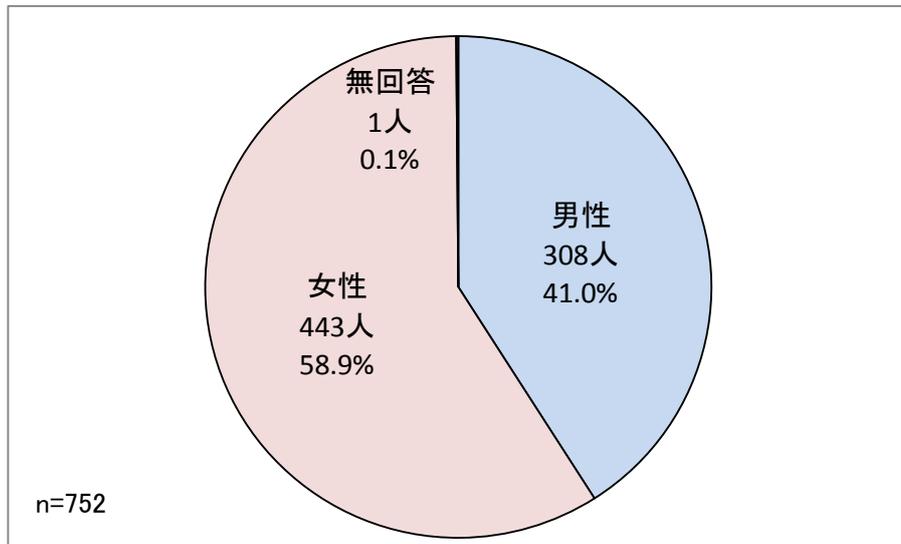
2.調査結果

(1) 全体集計

【はじめに】 あなたご自身のことについてお聞きします。

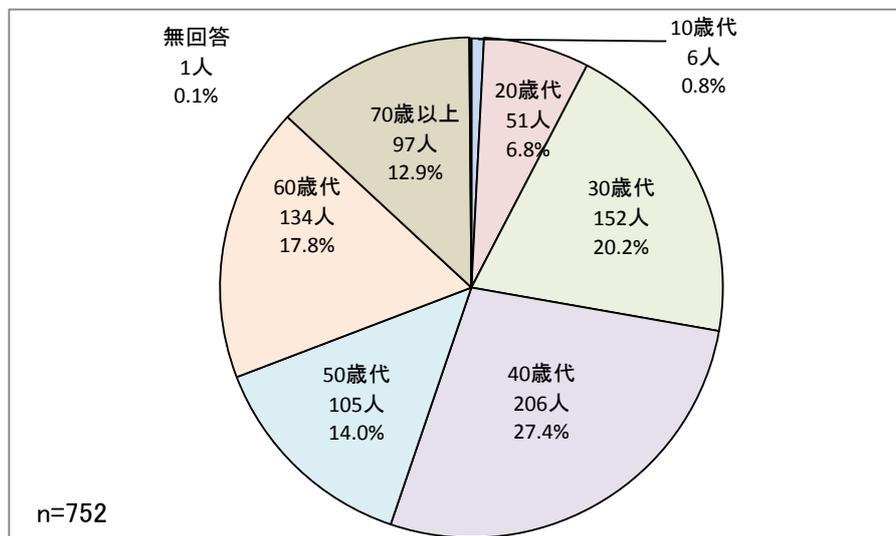
問1 あなたの性別は。《1つだけ○をつけてください》

- ・回答者の性別を見ると、男性は752人の41%（308人）、女性は58.9%（443人）を占めており、女性の割合が大きくなっています。



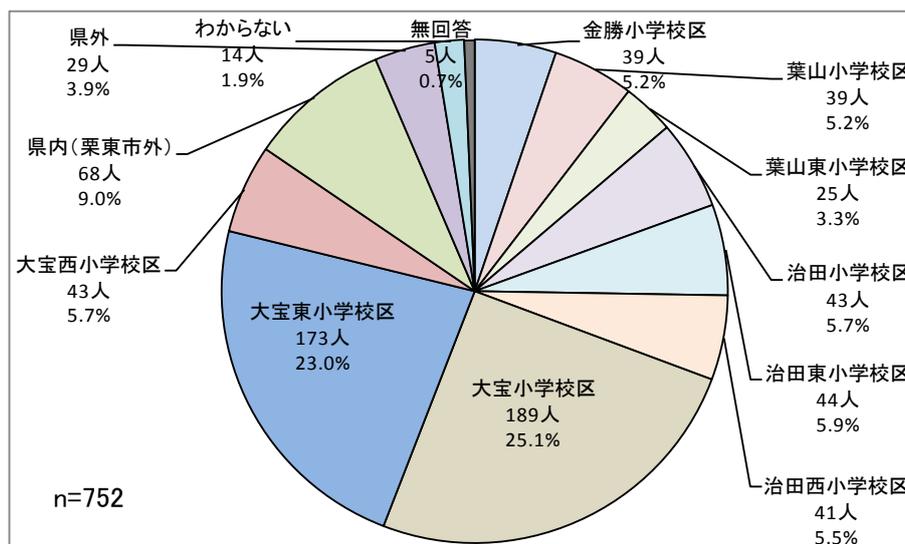
問2 あなたの年齢は。《1つだけ○をつけてください》

- ・回答者の年齢を見ると、最も多いのは、回答者の27.4%を占める40歳代で206人となっています。
- ・次いで20.2%（152人）の30歳代、3番目は17.8%（134人）の60歳以上となっています。
- ・50歳未満が回答者全体の約7割を占めています。



問3 あなたのお住まいは。《1つだけ○をつけてください》

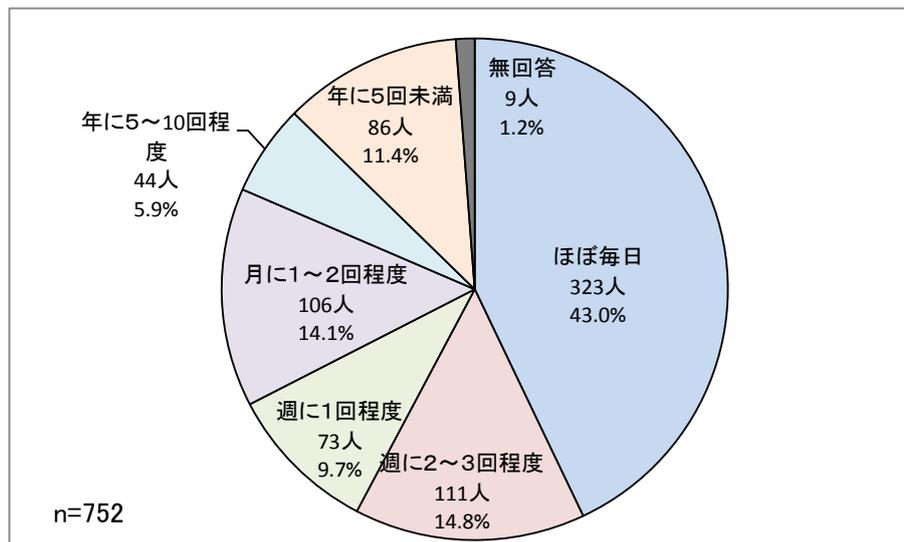
- ・回答者の居住地を見ると、最も多いのは、回答者の 25.1%を占める大宝小学校区で189人となっています。
- ・次いで、23.0%（173人）の大宝東小学校区、3番目は 5.9%（44人）の治田東小学校区となっています。



問4 あなたは、栗東駅周辺をどの程度訪れますか。

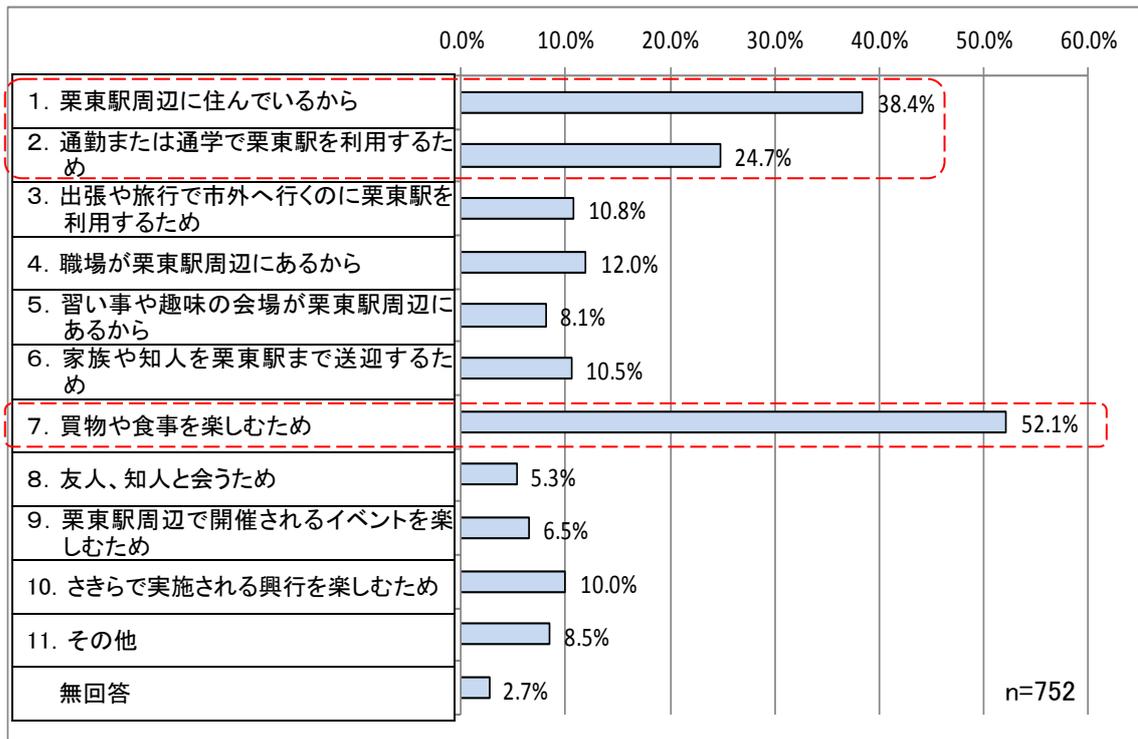
《1つだけ○をつけてください》

- ・最も多かったのは、43.0%を占める「ほぼ毎日」で323人となっています。
- ・次いで、「週に2～3回程度」が 14.8%（111人）、「月に1～2回程度」が 14.1%（106人）となっています。
- ・居住地が栗東駅周辺である回答者の割合が多かったために、来訪頻度が多い傾向になったと想定されます。



問5 栗東駅周辺を訪れる主な理由は何ですか。《○は3つまで》

- 最も多かったのは、回答者の 52.1% (392 人) が選択した「買物や食事を楽しむため」となっています。
- 次いで、38.4% (289 人) の「栗東駅周辺に住んでいるから」、3 番目は、24.7% (186 人) の「通勤または通学で栗東駅を利用するため」となっています。

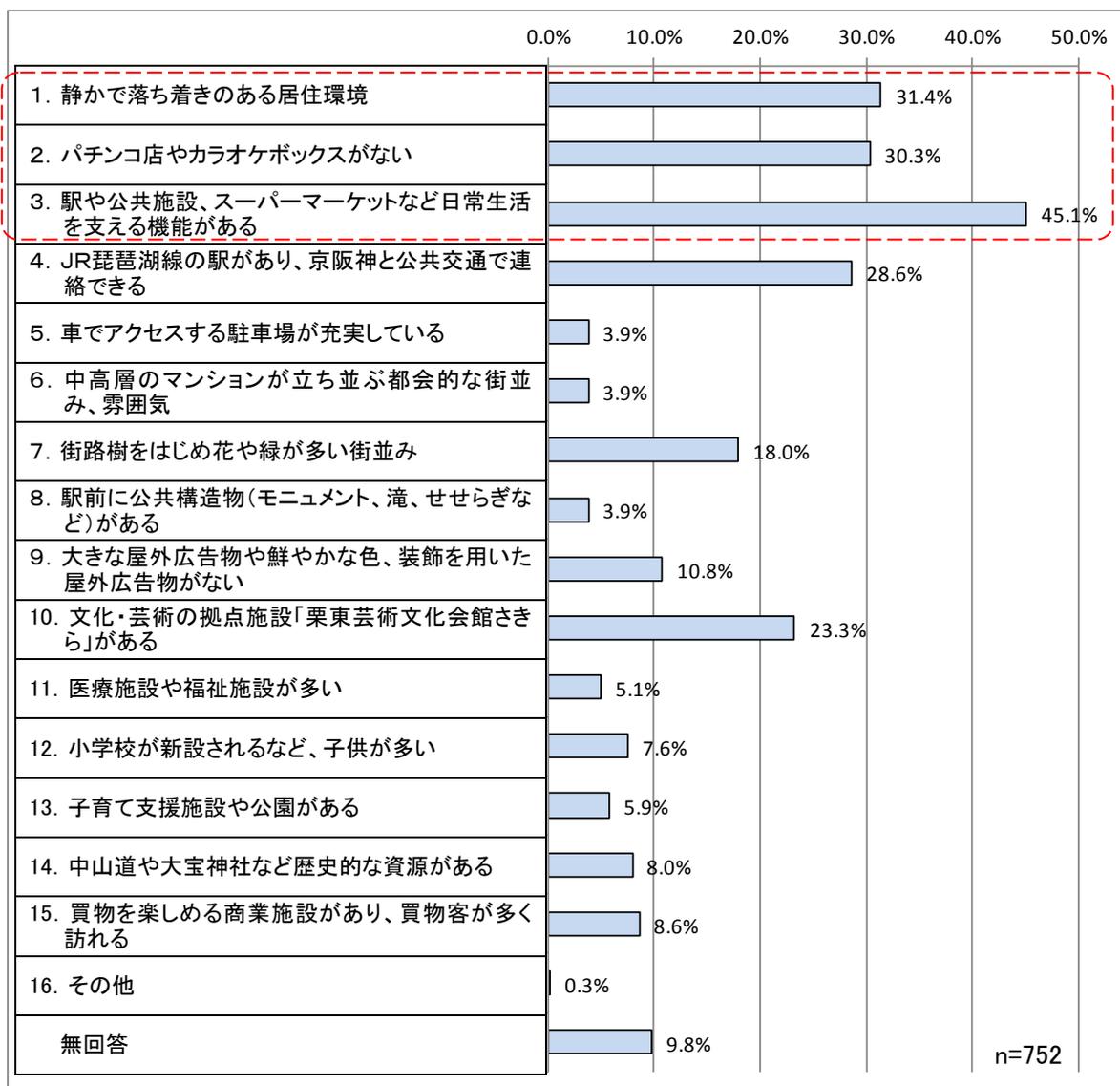


栗東駅周辺の現状について

問6 栗東駅周辺の現状について、ご自身が良いと思うこと、または改善したいと思うことに○をつけてください。《○は良いと思うこと、改善したいと思うことそれぞれ3つまで》

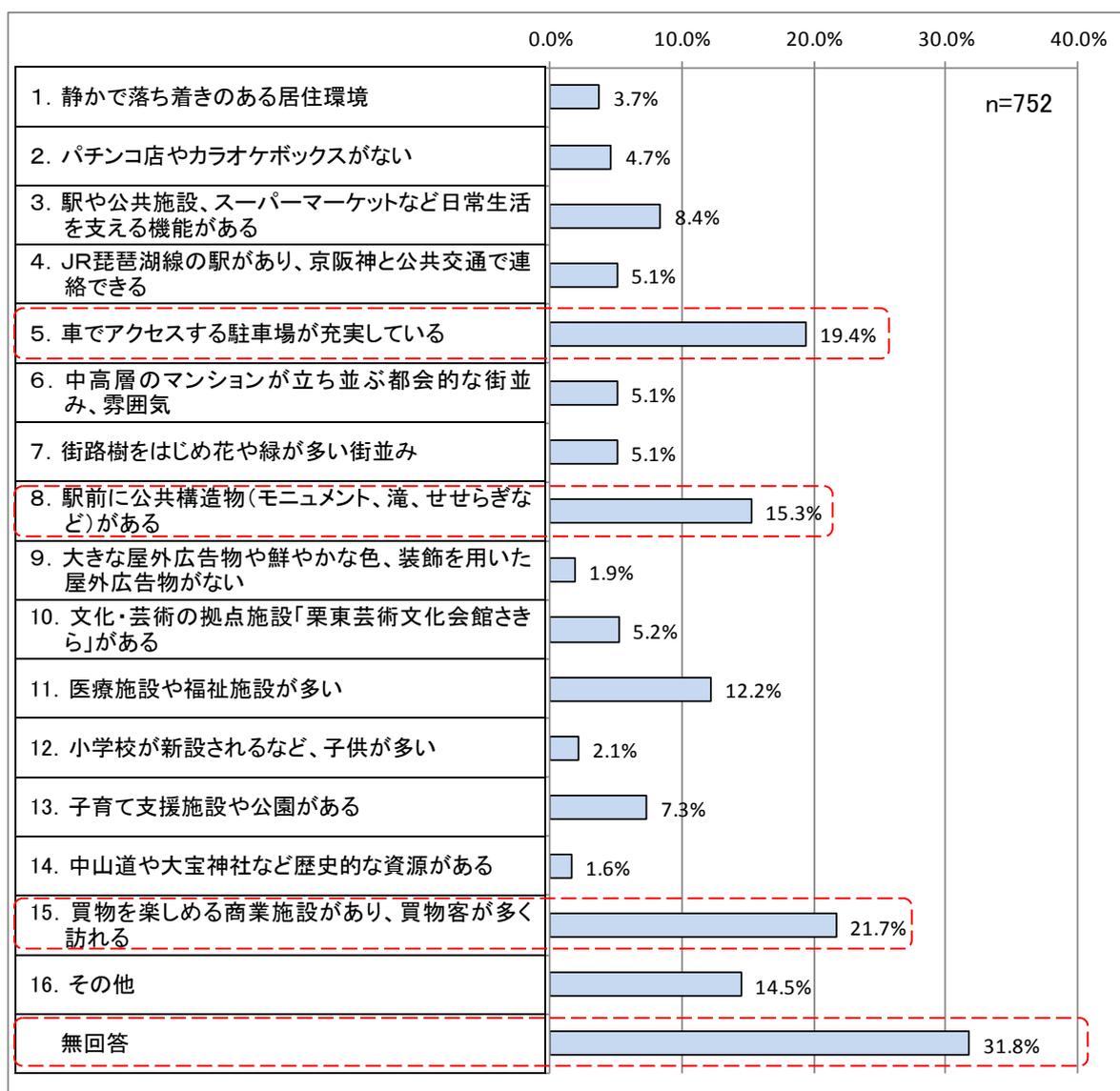
●良いと思うことについて

- ・最も多かったのは、回答者の 45.1%が選択した「駅や公共施設、スーパーマーケットなど日常生活を支える機能がある」で 339 人となっています。
- ・次いで、「静かで落ち着いたある居住環境」の 31.4% (236 人)、「パチンコ店やカラオケボックスがない」の 30.3% (228 人) となっています。



●改善したいと思うことについて

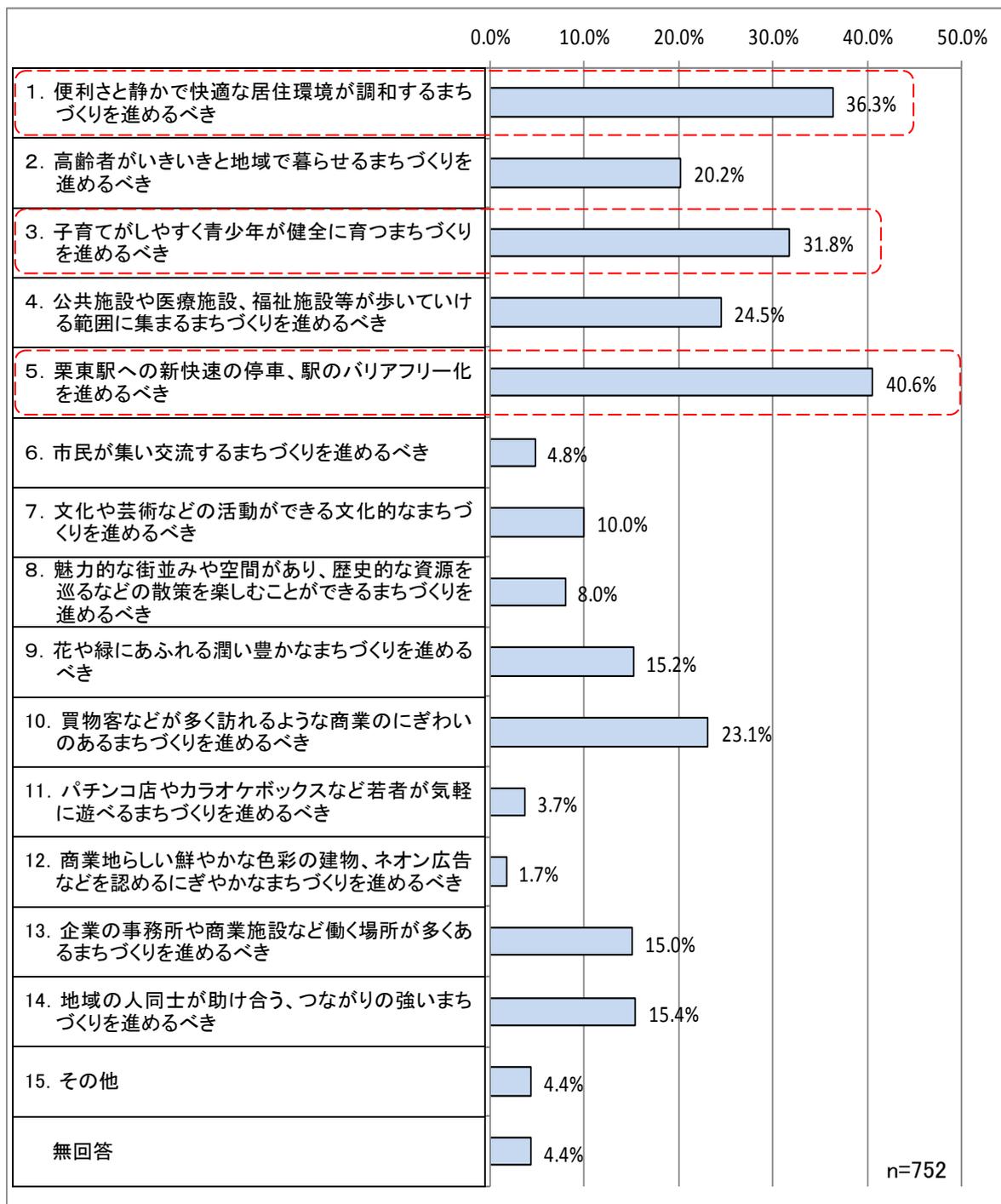
- ・回答者の 31.8% (239 人) は、改善したいと思うことについて回答がありませんでした。
- ・最も多かったのは、回答者の 21.7% が選択した「買物を楽しめる商業施設があり、買物客が多く訪れる」で 163 人となっています。
- ・次いで、「車でアクセスする駐車場が充実している」の 19.4% (146 人)、「駅前に公共構造物 (モニュメント、滝、せせらぎなど) がある」の 15.3% (115 人) となっています。



栗東駅周辺の今後のまちづくりについて

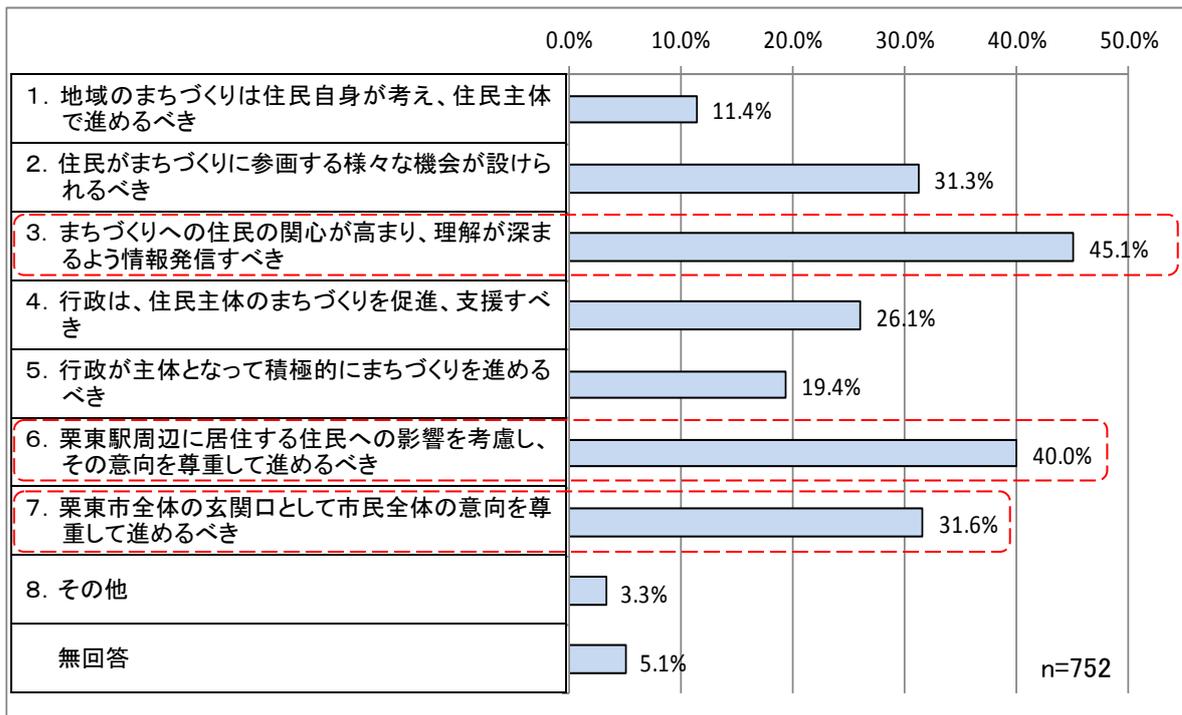
問7 栗東駅周辺の今後のまちづくりの方向性について、ご自身のお考えに近いものに○をつけてください。《○は3つまで》

- ・最も多かったのは、回答者の40.6%が選択した「栗東駅への新快速の停車、駅のバリアフリー化を進めるべき」で305人となっています。
- ・次いで、「便利さと静かで快適な居住環境が調和するまちづくりを進めるべき」の36.3%（273人）、「子育てがしやすく青少年が健全に育つまちづくりを進めるべき」の31.8%（239人）となっています。



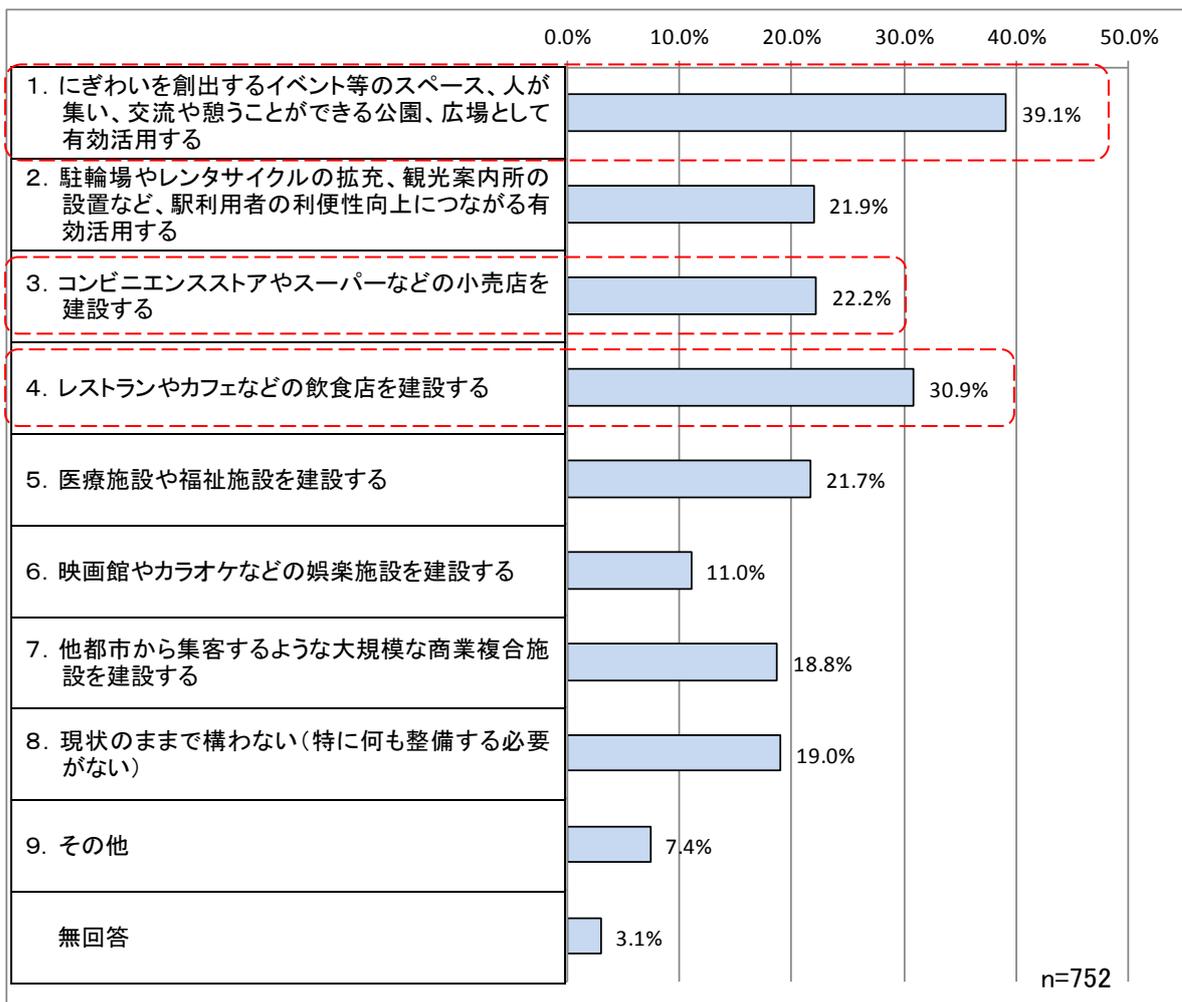
問8 栗東駅周辺の今後のまちづくりの進め方について、ご自身のお考えに近いものに○をつけてください。《○は3つまで》

- ・最も多かったのは、回答者の45.1%が選択した「まちづくりへの住民の関心が高まり、理解が深まるよう情報発信すべき」で339人となっています。
- ・次いで、「栗東駅周辺に居住する住民への影響を考慮し、その意向を尊重して進めるべき」の40.0%（301人）、「栗東市全体の玄関口として市民全体の意向を尊重して進めるべき」の31.6（238人）となっています。



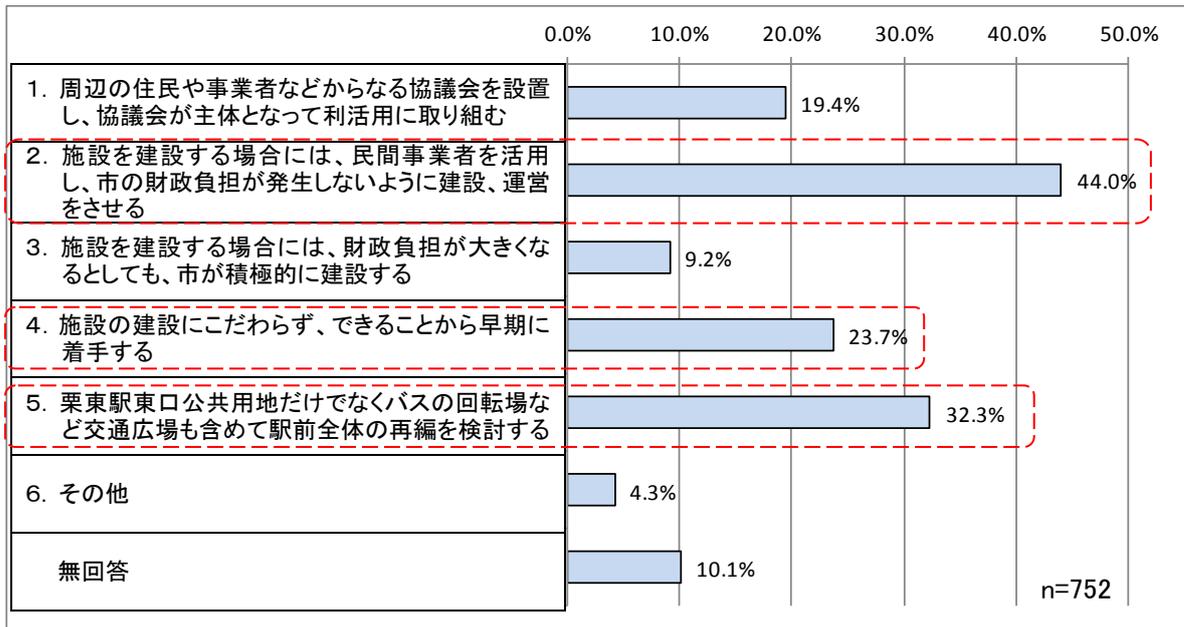
問9 栗東駅東口公共用地の利活用方策について、ご自身のお考えに近いものに○をつけてください。《○は3つまで》

- ・最も多かったのは、回答者の 39.1%が選択した「にぎわいを創出するイベント等のスペース、人が集い、交流や憩うことができる公園、広場として有効活用する」で 294 人となっています。
- ・次いで、「レストランやカフェなどの飲食店を建設する」の 30.9% (232 人)、「コンビニエンスストアやスーパーなどの小売店を建設する」の 22.2% (167 人) となっています。



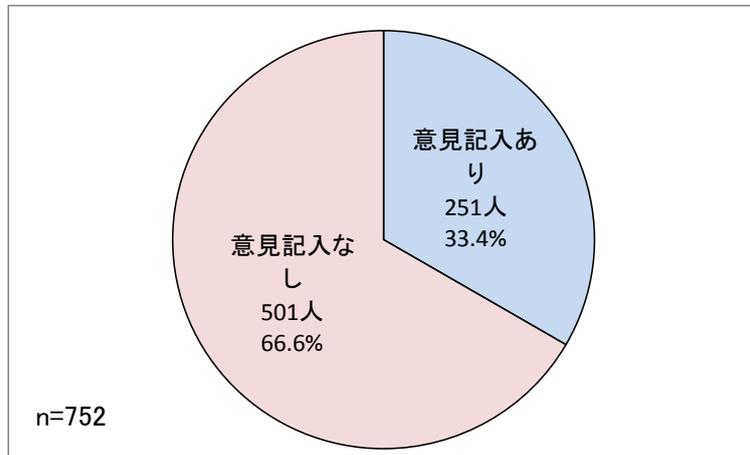
問 10 栗東駅東口公共用地の利活用の進め方について、ご自身のお考えに近いものに○をつけてください。《○は2つまで》

- ・最も多かったのは、回答者の 44.0%が選択した「施設を建設する場合には、民間事業者を活用し、市の財政負担が発生しないように建設、運営をさせる」で 331 人となっています。
- ・次いで、「栗東駅東口公共用地だけでなくバスの回転場など交通広場も含めて駅前全体の再編を検討する」の 32.3% (243 人)、「施設の建設にこだわらず、できることから早期に着手する」の 23.7% (178 人) となっています。



問 11 栗東駅周辺のまちづくり、または、栗東駅東口公共用地の利活用方策についてご意見がございましたらご記入ください。

- ・回答者の 33.4% (251 人) から、ご意見がありました。



- ・記述内容を整理すると、251 人から 295 件のご意見があり、その内訳は栗東駅周辺のまちづくりに関するご意見が 163 件、栗東駅東口公共用地の利活用に関するご意見が 85 件、その他のご意見が 47 件でした。

(1) 栗東駅周辺のまちづくりについて (163 件)

(ア)まちづくりの方向性について	74 件
常に歩行者が多いまちづくり、活気のあるまちづくりを進めるべきなど	17 件
子育て環境の充実や高齢者が安心して暮らせる環境の充実に取り組むべき (中学校の新設等)	16 件
青少年の健全育成環境、文化的なまちづくり (図書館の維持充実、さきらの充実等) を進めるべきなど	16 件
ウイングプラザの充実 (テナントの充実等) 、空き店舗の解消など	14 件
静かで安心して暮らせる居住環境の保全 (娯楽施設は不要等) など	8 件
市の中心として拠点性を高める (公共施設の集約) など	6 件
緑の維持管理 (剪定等) ・充実、一層の美しいまちづくりを進めるべきなど	6 件
その他まちづくりの方向性について	5 件
他都市の駅前との差別化を図るべき、特徴や個性のある街づくりを進めるべきなど	3 件

(イ)交通環境の充実等について	57件
栗東駅周辺と市内各地の連絡強化(バスの充実、国道からのアクセス充実等) など	20件
駅のバリアフリー化を進めるべきなど	17件
J R線東西の連絡強化(大門野尻線の早期整備を含む) など	9件
駐車場・駐輪場の充実(駐車料金の見直し) など	7件
新快速の停車実現に取り組むべきなど	3件
その他交通環境の充実等について	1件
(ウ)まちづくりの進め方について	27件
財政規律を遵守すべき、民間事業者を活用すべきなど	11件
その他まちづくりの進め方について	6件
まちづくりの情報発信に努めるべき(市の考えを示すべき、丁寧に説明すべき) など	5件
市民・住民の意向を反映すべきなど	3件
コミュニティの活躍を促進すべき、地域のつながりの強化を図るべきなど	2件
(エ)栗東駅周辺の現状について	5件
トイレが少ない、使いにくいなど	3件
行きたいと思うような特色がない、活気がないなど	2件

(2) 栗東駅東口公共用地の利活用について (85件)

(ア)施設等の建設に関するご意見	35件
駅利用者の利便性を強化する機能（駐輪場、駐車場、コンビニエンスストア等）など	19件
他都市から集客する複合商業施設の誘致、交易と商業の複合施設の整備など	5件
誰もが楽しめる施設など	3件
昼食ができる飲食店など	3件
ネットカフェやカラオケ、温浴施設などの娯楽施設	3件
その他施設の建設等に関する意見	2件
(イ)施設建設に慎重なご意見	30件
多目的広場・自由広場やゆったりと過ごせるカフェなど人が集う場とすべきなど	11件
施設は不要など	6件
現状のままが良い	4件
子供の遊び場とすべきなど	3件
その他施設整備に慎重な意見	6件
(ウ)栗東駅東口全体の見直し等に関する意見	14件
水路、噴水、滝の見直しなど	10件
広場全体を再編すべきなど	4件
(エ)今後の進め方に関する意見	6件
多くの市民の意見を取り入れるべき、多くの人が散策できる内容とすべき、地域住民自身が自らつくり上げるべきなど	6件

(3) 其他のご意見 (47件)

施設等の建設に関するご意見	47件
栗東駅は利用しない、栗東駅周辺には行かないなど	12件
市内の他地域のまちづくりも力を入れるべき	6件
ムクドリの対策	5件
新幹線新駅について(再検討すべき、大学を誘致すべき等)	5件
JR以東への郵便局の誘致	4件
アンケートについて(ウェブを活用すべき等)	3件
その他市政全般に関する事など	12件

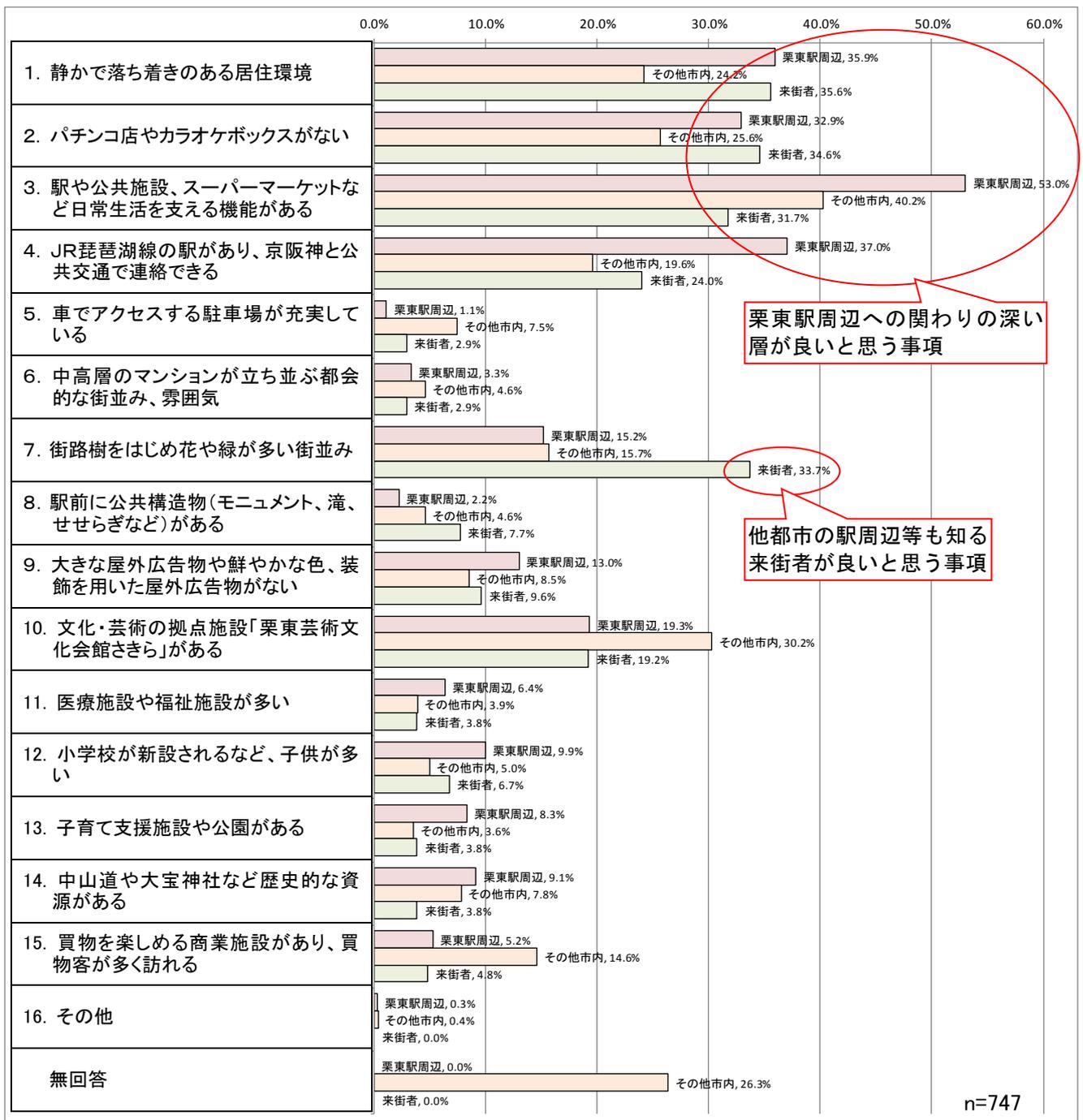
(2) 居住地別の集計

栗東駅周辺の現状について

問6 栗東駅周辺の現状について、ご自身が良いと思うこと、または改善したいと思うことに○をつけてください。《○は良いと思うこと、改善したいと思うことそれぞれ3つまで》

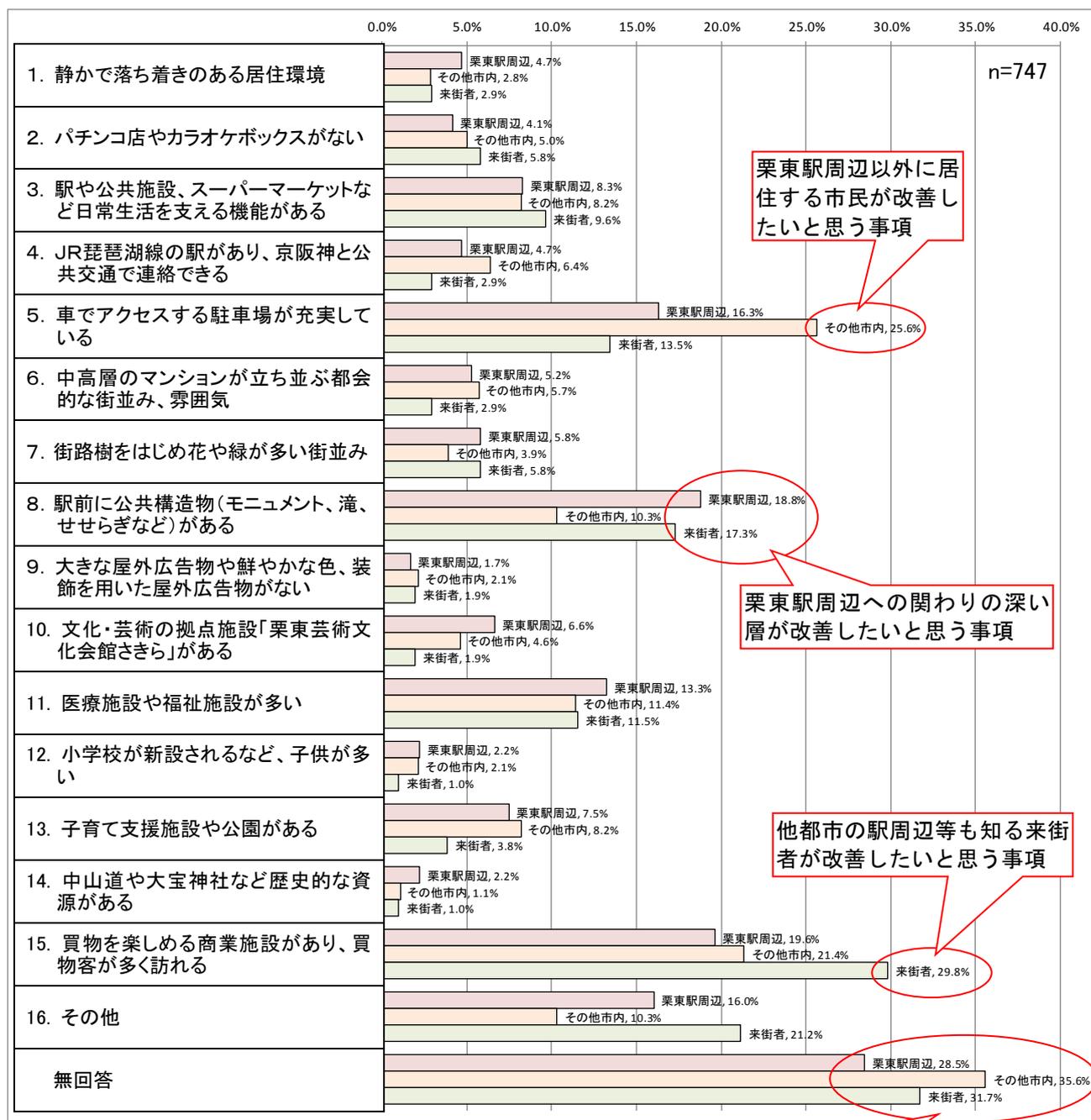
●良いと思うことについて

- ・栗東駅周辺（大宝学区、大宝東学区）に居住する人は、全体集計の結果とほぼ同様の傾向です。
- ・来街者は、「街路樹をはじめ花や緑が多い街並み」についても高く評価しています。



●改善したいと思うことについて

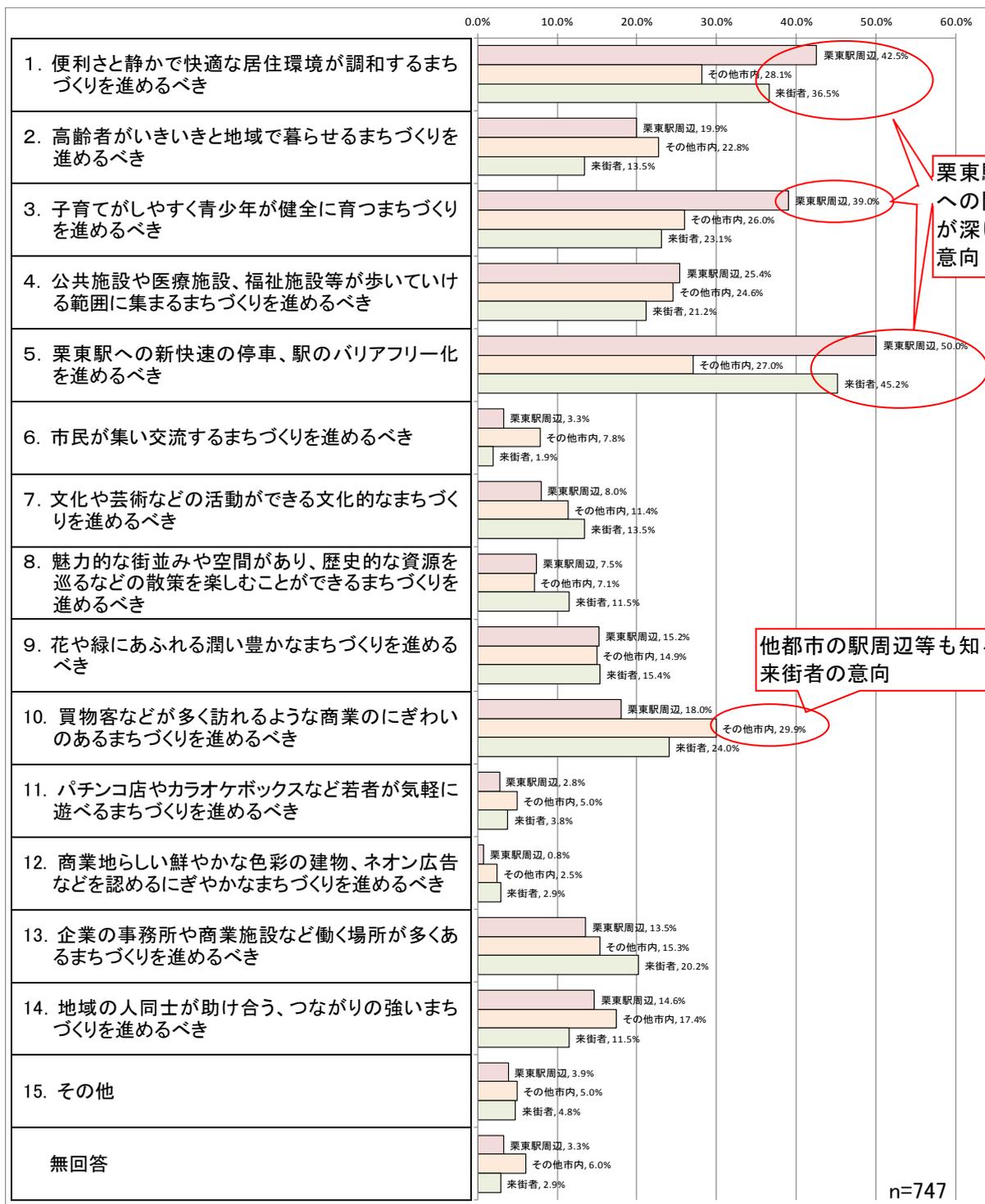
- ・栗東駅周辺（大宝学区、大宝東学区）に居住する人、及び、来街者は、全体集計の結果よりも「駅前に公共構造物（モニュメント、滝、せせらぎなど）がある」について改善したい意向があります。
- ・その他市内に居住する人は、全体集計の結果よりも「車でアクセスする駐車場が充実している」について改善したい意向が大きくなっています。



栗東駅周辺の今後のまちづくりについて

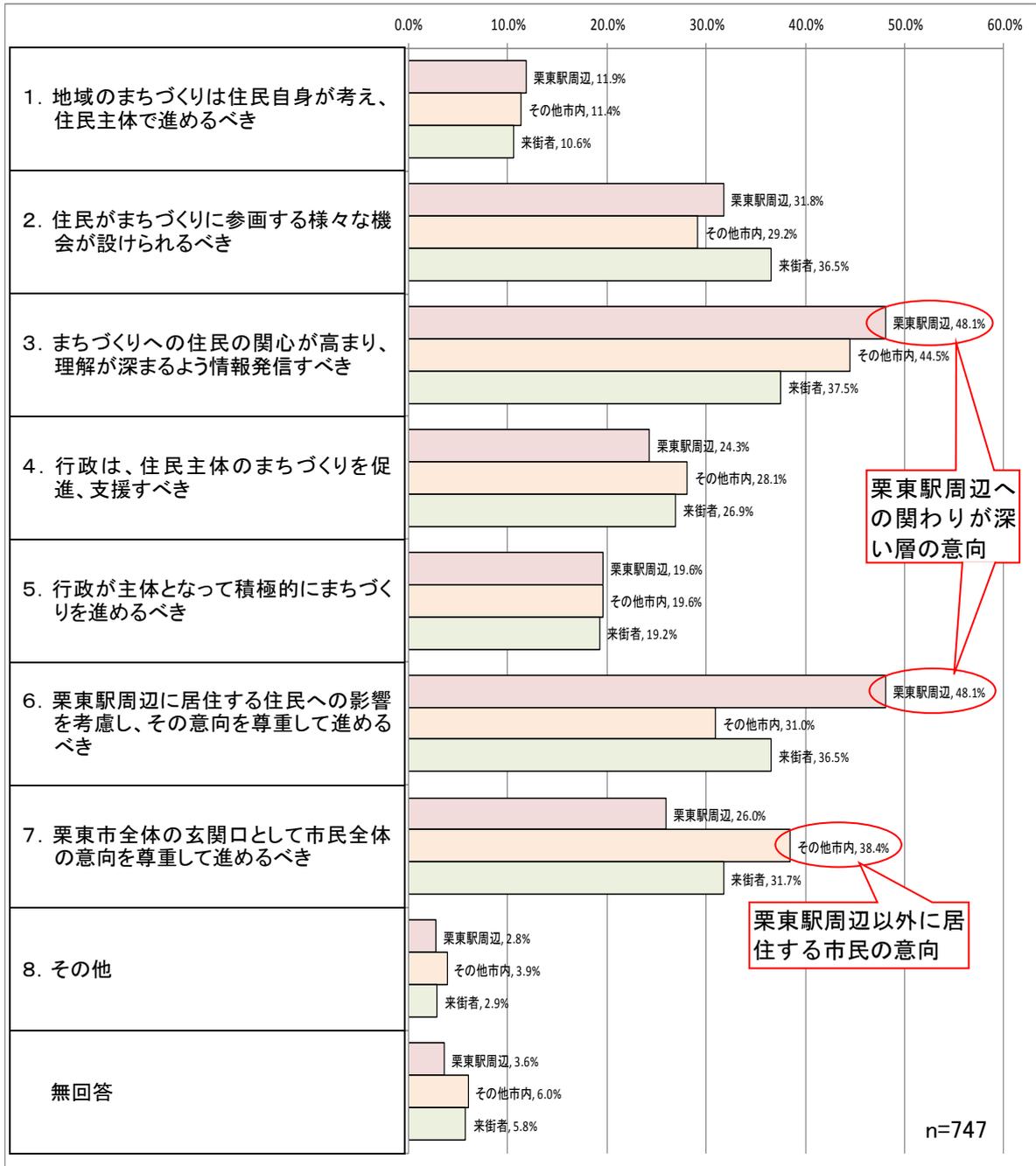
問7 栗東駅周辺の今後のまちづくりの方向性について、ご自身のお考えに近いものに○をつけてください。《○は3つまで》

- ・栗東駅周辺（大宝学区、大宝東学区）に居住する人、及び、来街者は、全体集計の結果とほぼ同様の傾向となっています。
- ・その他市内に居住する人は、全体集計の結果よりも「買物客などが多く訪れるような商業のにぎわいのあるまちづくりを進めるべき」の意向が大きくなっています。



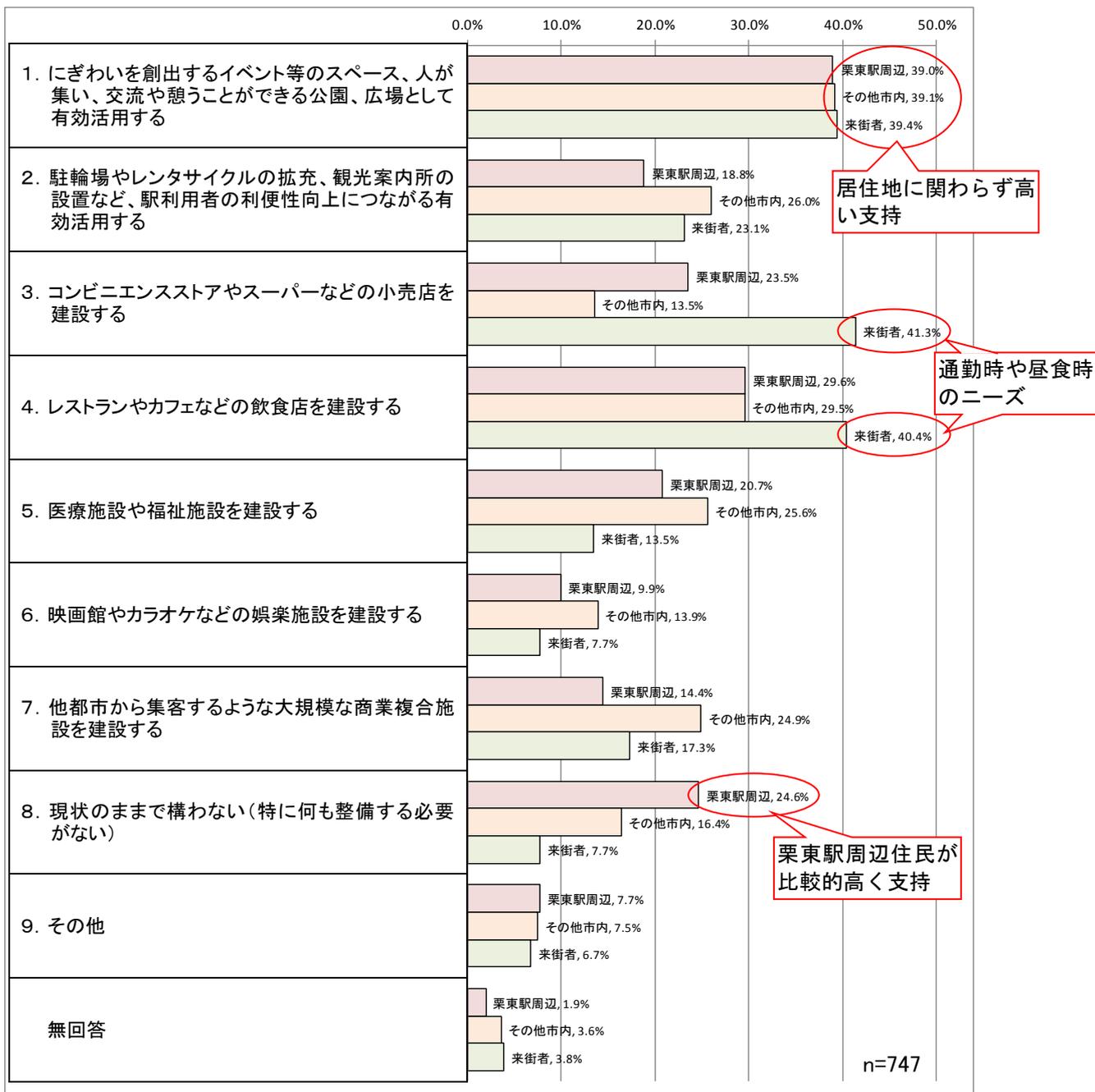
問8 栗東駅周辺の今後のまちづくりの進め方について、ご自身のお考えに近いものに○をつけてください。《○は3つまで》

- ・栗東駅周辺（大宝学区、大宝東学区）に居住する人、及び、来街者は、全体集計の結果とほぼ同様の傾向となっています。
- ・その他市内に居住する人は、全体集計の結果よりも「栗東市全体の玄関口として市民全体の意向を尊重して進めるべき」の意向が大きくなっています。



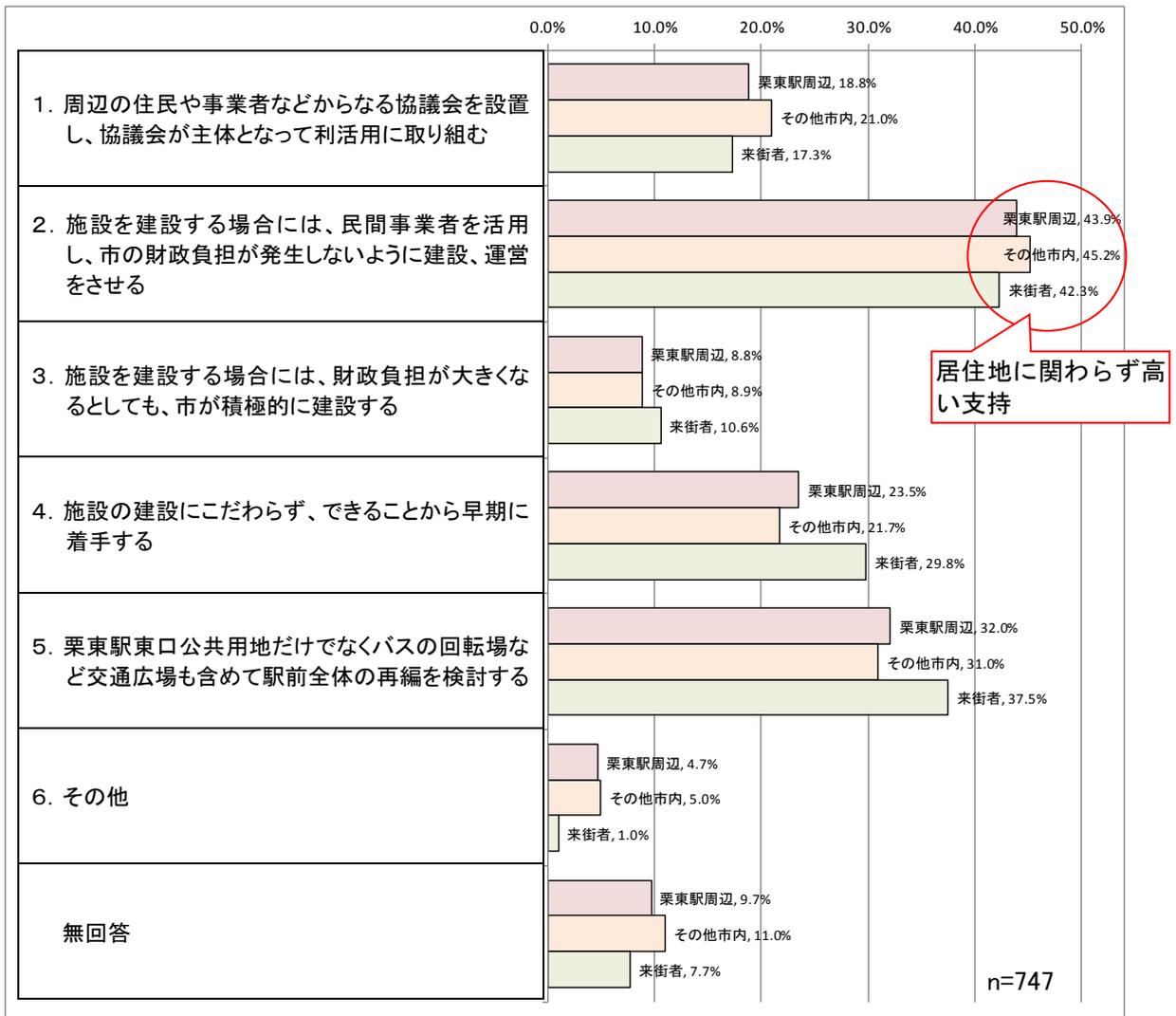
問9 栗東駅東口公共用地の利活用方策について、ご自身のお考えに近いものに○をつけてください。《○は3つまで》

- ・栗東駅周辺（大宝学区、大宝東学区）に居住する人は、最も多かった回答、及び、2番目に多かった回答は、全体集計の結果とほぼ同様の傾向となっていますが、3番目は、「現状のままで構わない（特に何も整備する必要がない）」となっています。
- ・その他市内に居住する人は、全体集計の結果とほぼ同様の傾向となっています。
- ・来街者（市外居住者）は、全体集計の結果よりも「コンビニエンスストアやスーパーなどの小売店を建設する」の意向が大きくなっています。



問 10 栗東駅東口公共用地の利活用の進め方について、ご自身のお考えに近いものに○をつけてください。《○は2つまで》

- ・居住地別に見ても、全体集計の結果とほぼ同様の傾向となっており、居住地に関わらず「施設を建設する場合には、民間事業者を活用し、市の財政負担が発生しないように建設、運営をさせる」が最も支持されています。



湖広消災発第 号
平成26年9月〇〇日

(草津市長・守山市長・栗東市長・野洲市長)
〇 〇 〇 〇 様

湖南広域行政組合
管理者 橋 川 渉

「消防活動支援情報としての住民基本データ外部提供に関する協定書」の
締結について（依頼）

このことについて、災害発生時に被災者の安否を確認するために標記協定書の締結をお願い申し上げます。

なお、御受託のうえは、誠に勝手ながら標記協定書に押印のうえ、一部御返送いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

記

1 協定書締結について

- (1) 締結予定日 平成26年10月1日
- (2) 協 定 書

別添「消防活動支援情報としての住民基本データ外部提供に関する協定書」(案)のとおり

2 提供を希望する個人情報

- (1) 住民基本台帳4情報（住所・氏名・生年月日・性別）（四半期毎にデジタル媒体で更新）
- (2) 火災や地震等災害発生時の人命救助を迅速に行うため、住民基本台帳4情報を用いて、被災者の安否確認や救助活動に活用するものです。

※ 具体的には、被災家屋に取り残された者は何名か、周辺住宅の状況はどうか、高齢者、乳幼児など配慮すべきことはないかなど、住民基本台帳情報を確認し、現場活動隊への支援情報として伝達します。

3 本人以外から情報収集する理由

火災や地震等災害発生時には、迅速な対応が必要となります。被災家屋に閉じ込められているなど、本人等から聞き取りが困難な場合を想定しています。

4 目的外利用・外部提供をいただく目的

被災世帯情報を即座に把握することが困難であるため、事前に市役所から定期的な情報を入手しておくことで、災害救助の迅速化に努めるものです。

5 情報の管理と使用について

- (1) 主 管 課 湖南広域消防局 災害管制課
- (2) 管理方法 専用のコンピューターを指令管制室に設置します。

(3) 使用方法 消防救急デジタル無線及び携帯電話などで情報の秘匿性を確保した上で使用します。

6 その他

提供される個人情報は、被災者の安否情報及び災害地点の決定以外には使用しません。取扱いができる職員は、災害管制課の職員 18 人と、夜間、指令管制室に勤務する消防救助課の指揮支援隊員 9 人に限定します。

取扱いには、十分配慮し関係法令を遵守します。

担当

湖南広域消防局

災害管制課 横江忠彦

TEL552-8119 Fax552-5050

消防活動支援情報としての住民基本データ外部提供に関する協定書（案）

〇〇市（以下「甲」という。）と湖南広域行政組合（以下「乙」という。）は、住民基本台帳電子データ（以下「住基データ」という。）の提供に関し、電子計算機処理に係る個人情報を保護するため、次のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 甲は、市民の生命財産の安全確保のために、住基データを被災者の安否情報および災害地点を円滑に特定することを目的に、乙に提供するものとする。

（用語の定義）

第2条 本協定において住基データとは、甲が管理する住民基本台帳から乙が必要とする基本4情報（住所、氏名、生年月日、性別）を抽出し、提供用レイアウトに編集したものをいう。

（住基データの授受および更新）

- 第3条 住基データの受け渡しは、甲乙双方があらかじめ指定する職員が、甲の指定する場所において行うものとする。
- 2 住基データにはセキュリティ対策を講じるものとする。
 - 3 住基データの更新は、3ヶ月に1回とし、住基データ提供日に乙が甲に電子媒体を返却し、甲において新たに更新した電子媒体を甲から乙に提供するものとする。
 - 4 住基データを記録する電子媒体は、乙の負担とする。

（秘密保持）

第4条 乙は、業務の遂行により知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。なお、秘密の範囲は、提供された住基データの情報全部とする。

（管理部署および取扱責任者）

- 第5条 乙は、住基データの保護、内容の保全に細心の注意を払い、責任をもって管理しなければならない。
- 2 乙の住基データの管理および取扱は災害管制課とし、災害管制課長を取扱責任者とする。

（目的外使用および第三者への提供の禁止）

第6条 乙は、住基データの情報を目的外に使用し、または第三者に提供してはならない。

(複写および複製の禁止)

第7条 乙は、住基データの情報を当該システムに複写入力する以外は、複写し、複製し、または紙媒体に出力して保存、使用してはならない。

(事故発生時の報告義務)

第8条 乙は、住基データの業務処理に関し、事故が発生した場合は遅滞なくその旨を甲に報告しなければならない。

(立入調査)

第9条 甲は、住基データの管理状態に関し必要があると認めるときは、乙に対し立入調査を行うことができるものとする。

(提供媒体の保管)

第10条 住基データを提供した電子媒体の保管については、システム入力後、乙の災害管制課の金庫で保管するものとする。

(権利義務の譲渡等)

第11条 乙は、第三者に対しこの本協定によって生じる権利または義務を譲渡してはならない。

(協議)

第12条 本協定に定めのない事項については、その都度甲乙協議して定めるものとする。

本協定締結の証とするため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ記名押印の上、各1通を保有するものとする。

平成 年 月 日

甲 構成市長名

乙 管理者名